



2024 年度

教育と研究に関する年次報告書

神戸大学大学院理学研究科・理学部

2025 年 7 月

目 次

はじめに.....	1
I. 組織と運営	2
I-1 組織と運営	2
I-1-1 理学研究科の構成.....	2
I-1-2 教員の配置.....	3
I-1-3 各種の委員会	4
II. 教育活動.....	9
II-1 入学試験	9
II-1-1 学部入学試験.....	9
II-1-2 大学院博士課程前期課程入学試験	12
II-1-3 大学院博士課程後期課程入学試験	14
II-2 授業の実施状況.....	15
II-3 授業改善の取り組み	17
II-3-1 学生による授業評価.....	17
II-3-2 授業参観（ピアレビュー）	19
II-4 学生生活の支援.....	20
II-5 就職の支援.....	22
II-5-1 理学研究科・理学部就職委員会主催の就職支援講座開催	22
II-5-2 その他の活動.....	23
II-5-3 「理学部学生支援室」	24
II-5-4 理学部同窓会との連携	24
II-6 卒業、修了及びその後の進路	25
II-6-1 学部卒業生・大学院前期課程修了生の進路.....	25
II-6-2 卒業、大学院博士前期課程修了、博士学位取得状況の年次推移	29
II-6-3 TA、RA の採用状況.....	39
II-6-4 PD、DC の採用状況	39
II-6-5 ディプロマ・ポリシー達成度アンケート	39
II-6-6 プログラム教育コースアンケート	44
II-6-7 OB・OG 合同会社説明会卒業生アンケート.....	45
II-7 留学生の受け入れ状況.....	47
III. 研究活動.....	49
III-1 研究資金の状況	49
III-2 外部資金獲得のための取り組み.....	58
IV 社会活動.....	59
IV-1 ホームページの作成と公開.....	59
IV-2 公開講座.....	60
IV-3 出前授業・模擬授業.....	61
IV-4 理学部オープンキャンパス	64

IV-5 神戸大学ホームカミングデー理学部企画	66
IV-6 その他の活動	66

図 表 目 次

図 I-1 : 理学研究科の教員構成の概要 (2024 年度 5 月時点) (特命教員含む)	2
図 I-2 : 理学研究科の教員構成の概要 (2024 年度 5 月時点)	2
表 I-1 : 理学系各領域における年度別教員数の推移 (2022-2024 年度)	3
表 I-2 : 理学研究科事務職員配置の年度状況 (2022-2024 年度)	3
表 I-3 : 教員の兼業状況 (2022-2024 年度)	4
表 I-4 : 理学研究科内各種委員会委員名簿 (2024 年度)	5
表 I-5 : 学内各種委員会理学研究科委員名簿 (2024 年度)	7
表 II-1 : 2024 年度 学部入学試験状況一覧	9
表 II-2 : 2024 年度 学科別入学試験状況一覧.....	9
表 II-3 : 2024 年度 第 3 年次編入学試験概要	10
表 II-4 : 2024 年度 第 3 年次編入学者出身別分布	10
表 II-5 : 2024 年度 都道府県別入学志願者数.....	10
表 II-6 : 2024 年度 大学院博士課程前期課程入学試験概要	12
表 II-7 : 2024 年度 出身大学別大学院博士課程前期課程入学者一覧.....	12
表 II-8 : 2023 年度 大学院博士課程後期課程入学試験概要	14
表 II-9 : 2024 年度理学部実施授業科目数	15
表 II-10 : 2024 年度理学研究科実施授業科目数.....	15
表 II-11 : 2024 年度理学部遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目	16
表 II-12 : 2024 年度理学研究科遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目	16
表 II-13 : 授業振り返りアンケート集計結果 (2024 年度)	18
表 II-14 : 教員相互による授業参観実施状況 (2022-2024 年度)	19
表 II-15 : 学部学生の奨学金受給状況 (2024 年度)	20
表 II-16 : 大学院前期課程学生の奨学金受給状況 (2024 年度)	20
表 II-17 : 大学院後期課程学生の奨学金受給状況 (2024 年度)	20
表 II-18 : 学部学生の授業料減免状況 (2024 年度)	20
表 II-19 : 大学院前期課程学生の授業料減免状況 (2024 年度)	21
表 II-20 : 大学院後期課程学生の授業料減免状況 (2024 年度)	21
表 II-21 : 各種奨学金の受給状況 (2024 年度)	21
表 II-22 : 大学院後期課程学生支援プロジェクトの実施状況.....	21
表 II-23 : 就職対策講座実施状況 (2024 年度)	22
表 II-24 : 学部卒業生の進路 (数学科)	25
表 II-25 : 学部卒業生の進路 (物理学科)	25

表 II-26 : 学部卒業生の進路 (化学科)	26
表 II-27 : 学部卒業生の進路 (生物学科)	26
表 II-28 : 学部卒業生の進路 (惑星学科)	27
表 II-29 : 大学院前期課程修了生の進路 (数学専攻)	27
表 II-30 : 大学院前期課程修了生の進路 (物理学専攻)	27
表 II-31 : 大学院前期課程修了生の進路 (化学専攻)	28
表 II-32 : 大学院前期課程修了生の進路 (生物学専攻)	28
表 II-33 : 大学院前期課程修了生の進路 (惑星学専攻)	28
表 II-34 : 理学部卒業生数の推移	29
表 II-35 : 数学科卒業生数の推移	30
表 II-36 : 物理学科卒業生数の推移	31
表 II-37 : 化学科卒業生数の推移	32
表 II-38 : 生物学科卒業生数の推移	33
表 II-39 : 惑星学科卒業生数の推移	34
表 II-40 : 理学研究科博士課程前期課程修了生数の推移	35
表 II-41 : 数学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	35
表 II-42 : 物理学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	36
表 II-43 : 化学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	36
表 II-44 : 生物学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	37
表 II-45 : 惑星学専攻博士課程前期課程修了生数の推移	37
表 II-46 : 理学研究科博士課程後期課程学位授与状況	38
表 II-47 : 博士学位取得者の進路 (2024 年度)	38
表 II-48 : 論文博士学位取得者	38
表 II-49 : TA および RA の採用人数 (延べ人数)	39
表 II-50 : 学振 PD/RPD および DC の採用数 (2024 年度)	39
表 II-51 : その他研究員等の採用 (2024 年度)	39
表 II-52 : 理学部 2024 年度 学部卒業生 DP 達成度アンケート結果	43
表 II-53 : 理学研究科 2024 年度 大学院博士課程前期課程修了生 DP 達成度アンケート結果	43
表 II-54 : 理学研究科 2024 年度 大学院博士課程後期課程修了生 DP 達成度アンケート結果	43
表 II-55 : 理学研究科 2024 年度 数理・経済プログラム教育コースアンケート結果	44
表 II-56 : 2024 年度 理学系 OB・OG との交流会卒業生アンケート集計	45
表 II-57 : 学部留学生数 (2024 年度)	47
表 II-58 : 大学院前期課程留学生数 (2024 年度)	47
表 II-59 : 大学院後期課程留学生数 (2024 年度)	48
表 III-1 : 2024 年度 科学研究費助成事業のまとめ	49
表 III-2 : 2024 年度 理学研究科奨学寄附金の受け入れのまとめ	50
表 III-3 : 2024 年度 理学研究科産学連携等研究費のまとめ	50
表 III-4 : 数学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額	50
表 III-5 : 物理学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額	51

表 III-6 : 化学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額	51
表 III-7 : 生物学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額.....	52
表 III-8 : 惑星学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額.....	52
表 III-9 : 2024 年度 受託研究契約一覧	53
表 III-10 : 2024 年度 共同研究契約一覧	55
表 III-11 : 2024 年度 その他補助金等の受け入れ一覧.....	57
表 III-12 : 運営費交付金等予算の推移.....	58
表 IV-1 : 理学研究科・理学部のホームページ.....	59
表 IV-2 : 理学部サイエンスセミナーの開催状況	60
表 IV-3 : 理学部における模擬授業の実施状況概要 (2024 年度)	63
表 IV-4 : 2024 年度理学部オープンキャンパス参加高校と参加者数.....	64

はじめに

2024年度版年次報告をお届けする。2024年度は国立大学法人の第四期中期目標・中期計画期間の三年目にあたり、第四期の評価を実質的に行う法人評価の四年目評価を目前に控えた年に当たる。第四期はポストコロナの立ち上がりから始まったが、2024年度は社会的にはほぼその影響が消えつつある年に当たり、理学部・理学研究科の運営もほぼ旧に復した感がある。しかしながら複数の戦争を抱える国際情勢の影響は大きく、海外渡航、国際共同研究の実施とその成果の発表などへの障害となっている。また、長年理学の教育研究を牽引してきた有力な教員数名が退職したことによる教育力と研究力への影響も懸念されたところであるが、一方新たな人事により着任した新任教員の活躍がそれを補うかが問われたところでもあり、その意味でも不安と期待が入り混じる年度ではあった。

結果を見ればKPIの中で教育関係の指標にはおおむね問題はなく、学生の海外派遣数などを除けば、総体として良好と判断されるべきものである。それに反して研究発表関係の指標に未達のものが見える。これはコロナや国際情勢の影響が大きいのもあるが、そもそも設定された目標が現実に即したものであったか、慎重に考察された適切なものであったかという点や、人員や資金の手当てが不十分なまま達成を求めることについての疑問が残り、将来にわたる検証が必要であろう。いずれにしても理学における教育と研究は粛々となされており、過渡的現象としての摂動を除けば十分な成果が成されていると判断するところである。

ただ、理学のアキレス腱としては博士課程後期課程の入学人数の未充足の問題がある。2021年度実施の機関別認証評価で、過去5年間の入学人数充足率が70%を下回ることを指摘され、2年間のうちに改善し報告することを求められた。策を労するも甲斐なく2023年度末においても充足率は70%に達せず万事休すと思われたが、2024年10月入学者も2023年度入学となることに一縷の望みをかけ努力した結果最後の瞬間に70%を達成し切り抜けることに成功した。後期課程志願者を増加させる方策を様々試みたが、このような努力を将来にわたって惜しむべきではないことを痛感する出来事であった。

各々の数値の浮き沈みはともかく、現状を正確に把握し、冷静な分析の上、後の方針に的確に反映させることは常に重要である。また、その過程で得られたデータを整理保存し将来に備えることも有用である。神戸大学120年史の編纂に当たって過去の年次報告を通覧したが、その網羅的な記述に助けられるところが大きかった。この年次報告も理学の自己分析に資するとともに、理学の現状をステークホルダーの皆様に報告し、さらにそれを将来に残す役割を果たすであろうと考える。ともあれ、年次報告の作成に尽力された自己評価委員、専攻担当事務、事務課各係の各位に敬意と謝意を表するものである。

2025年7月 理学部長・理学研究科長 福山 克司

I. 組織と運営

I-1 組織と運営

I-1-1 理学研究科の構成

神戸大学「大学院理学研究科」の教員構成を図 I-1 に示す。理学研究科は、自然科学研究科及び関係 4 学部の改組により 2007 年 4 月に発足した博士課程前期課程及び後期課程を擁する大学院教育研究組織である。理学研究科を担当する教員は、理学研究科を本務とする者と、下記の関連センターを本務とし理学研究科を兼務する者から構成される。理学研究科の教員は同時に理学部を兼務し、学部教育及び全学共通教育も担当している。

図 I-1 : 理学研究科の教員構成の概要 (2024 年度 5 月時点) (特命教員含む)

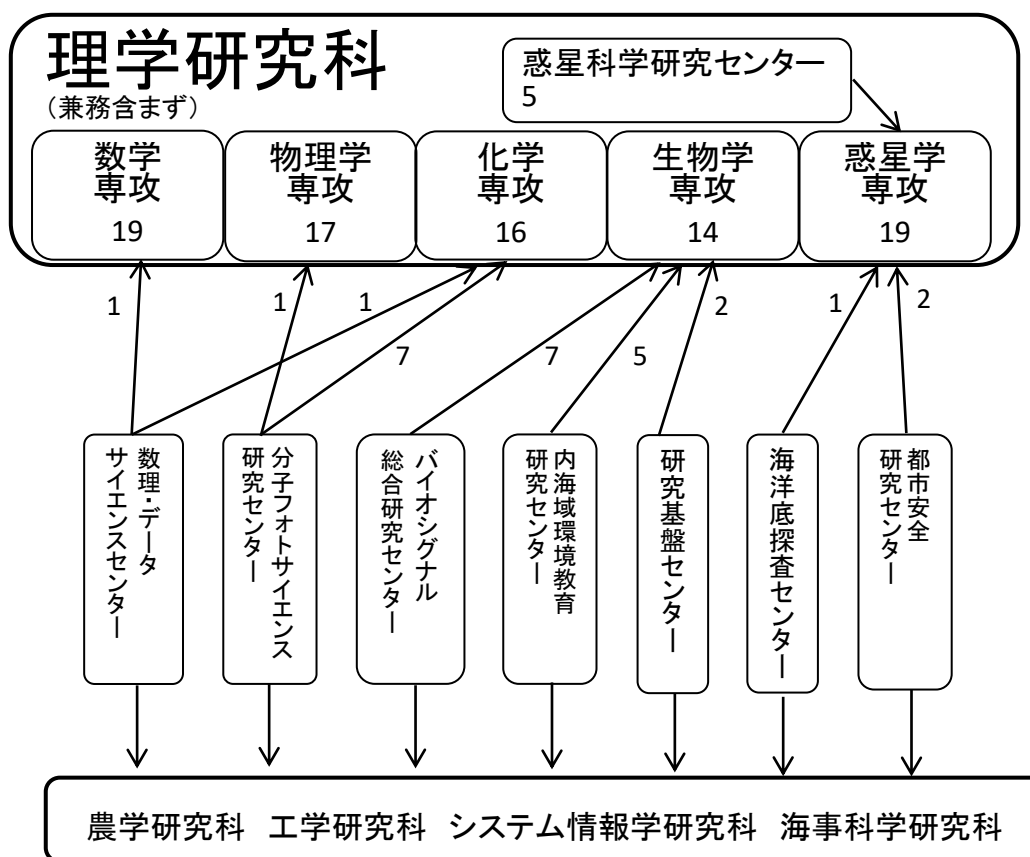
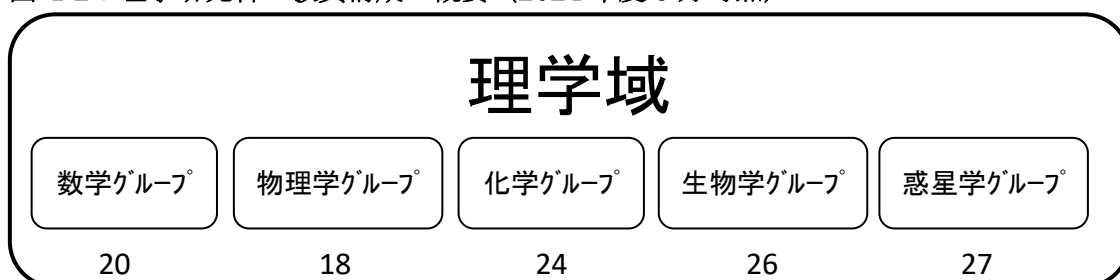


図 I-2 : 理学研究科の教員構成の概要 (2024 年度 5 月時点)



2015年10月1日に「海洋底探査センター」が設置された。2016年4月1日に「バイオシグナル研究センター」と「遺伝子実験センター」は統合して「バイオシグナル総合研究センター」となった。2017年12月1日に「数理・データサイエンスセンター」が設置された。

I-1-2 教員の配置

表 I-1 に理学系教員の年度別配置状況を、また表 I-2 に理学研究科の事務職員の配置状況を示す。更に、表 I-3 に理学系教員の兼務等の状況を示す。(各年度の5月1日時点の配置数を示す)

表 I-1 : 理学系各領域における年度別教員数の推移 (2022-2024 年度)

	2022年度						2023年度						2024年度					
	P	AP	L	A	RA	計	P	AP	L	A	RA	計	P	AP	L	A	RA	計
数学領域																		
数学科/数学専攻	11	3		3		17	12	3		3		18	13	3		3		19
数理・データサイエンスセンター	1					1	1				1	1	1					1
小計	12	3	0	3	0	18	13	3	0	3	0	19	14	3	0	3	0	20
物理学領域																		
物理学科/物理学専攻	8	10	1	2		21	7	8	1	2		18	6	8	2	1		17
分子フォトサイエンス研究センター	1	1				2	1	1			2	2		1				1
先端融合研究環						0					0	0						0
小計	9	11	1	2	0	23	8	9	1	2	0	20	6	9	2	1	0	18
化学領域																		
化学科/化学専攻	5	8				13	5	8			13	6	7			3		16
分子フォトサイエンス研究センター	3	1			2	6	3	1			3	7	3	1			3	7
数理・データサイエンスセンター	1					1	1				1	1	1					1
小計	9	9	0	0	2	20	9	9	0	0	3	21	10	8	0	3	3	24
生物学領域																		
生物学科/生物学専攻	5	7		2		14	6	6		1		13	5	5	3	1		14
バイオシグナル研究センター	2	2		2	1	7	2	2		2	1	7	2	2		2	1	7
内海域環境教育研究センター	3		1	1		5	3		1	2		6	3		1	1		5
研究基盤センター	1			1		2	1			1		2	1			1		2
小計	11	9	1	6	1	28	12	8	1	6	1	28	11	7	4	5	1	28
惑星学領域																		
惑星学科/惑星学専攻	7	3	3	3	1	17	7	3	4	5		19	6	3	4	6		19
都市安全研究センター	1	1				2	1	1			2	2	1	1				2
海洋底探査センター	1		1	1		3	1				1	1	1					1
惑星科学研究センター		1		3		4	1		2		3	2				3		5
小計	9	5	4	7	1	26	10	4	4	7	0	25	10	4	4	9	0	27
合計	50	37	6	18	4	115	52	33	6	18	4	113	51	31	10	21	4	117

略語 P:教授 AP:准教授 L:講師 A:助教 RA:助手

表 I-2 : 理学研究科事務職員配置の年度状況 (2022-2024 年度)

年 度	事務課長	係長	主任	係員	準事務員	技術職員	事務補佐員	再雇用職員	計
2022	1	3	3	4	0	3	15	1	30
2023	1	3	4	4	0	3	13	0	28
2024	1	3	3	5	0	3	16	0	31

2022年度係員に育休代替職員2名含む。

2023年度、2024年度事務課長に再雇用職員1名含む。

2024年度係員に育休代替職員2名含む。

表 I-3 : 教員の兼業状況 (2022-2024 年度)

年 度	非常勤講師	委員会等委員	常勤併任	その他	備考
2022	15	91	0	77	
2023	8	88	0	96	
2024	8	67	0	51	

I-1-3 各種の委員会

理学研究科の教育研究活動を推進して行くに当たり、出来るさまざまな問題を解決するために、各種の委員会を設置して対応している。表 I-4 に理学研究科内に設置した各種委員会の構成を、また表 I-5 に全学の委員会および部局にまたがる各種の委員会の構成を示す。理学研究科内に設置した委員会については、その構成や機能について随時見直しを行っている。

表 I-4 : 理学研究科内各種委員会委員名簿 (2024 年度)

2024 年 5 月 1 日現在

	委員会等名						任期		備考 *印は委員長
	数学	物理学	化学	生物学	惑星学				
常置委員会	副研究科長(評議員)				井上		2024. 4. 1～2026. 3.31	2年	
	副研究科長	高岡					2024. 4. 1～2026. 3.31	2年	研究科長任期満了まで
	専攻長	たに口	早田	大西	青沼	大槻	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	教授会審議
	副専攻長	太田(泰)	山崎(祐)	内野	奥田	島	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	
	教務委員長					金子	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	学科編成順(教務委員経験者)
	教務委員会 (正)	佐藤	身内	木村(建)	辻	廣瀬	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	(副)は、次期(正)となる
		(副) 福山	鈴木	津田	坂山	清杉	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	
	広報委員会委員長					山本	2024. 4. 1～2026. 3.31	2年	学科逆編成順
	広報委員会	青木	大道	富永	松花	山崎(和)	2024. 4. 1～2026. 3.31	2年	HP担当(白井技術職員)
	ネットワーク運営委員会委員長		西野				任期なし(2024.4.1～)		(副 事務課長)
	ネットワーク管理責任者			内野			2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	学科編成順 委員長が交代になるまで物理学は除か
	ネットワーク運営委員会	や口	西野	内野	佐倉	清杉	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	
	理学研究科自己評価委員会委員長	佐治					2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	学科編成順
	理学研究科自己評価委員会	佐治	山崎(祐)	持田	石崎	島	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	研究科長, 副研究科長(高岡)
	理学部自己評価委員会委員長	佐治					2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	学科編成順
	理学部自己評価委員会	佐治	山崎(祐)	持田	石崎	島	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	研究科長, 副研究科長(高岡)
	入学試験委員会委員長		藤				2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	学科編成順
	入学試験委員会 (正)	森本	松岡	木村(哲)	塚本	齋藤	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	
		(副) 太田(泰)	神野	松原	森田	中村	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	
	就職委員会委員長				菅澤		2023. 10. 1～2024.9.30	1年	学科逆編成順
	就職委員会	山田	西野	立川	菅澤	杉岡	2023. 10. 1～2024.9.30	1年	副研究科長(井上)
	日本学生支援機構学資金返還免除申請者選考委員会	太田(泰)	西野	小堀	深城	中村	2023. 10. 1～2025.9.30	2年	(非公開) * 高橋 芳幸 (学生委員)
	博士課程後期課程早期修了審査委員会	青木	山崎(祐)	大西	井上	杉岡	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	(非公開)
	惑星科学研究センター運営委員会				青沼	島	2024. 4. 1～2025. 3.31	1年	学科逆編成順
	外部資金アドバイザーボード	高山	身内	木村(建)	菅澤	島	2023. 4. 1～2025. 3.31	2年	* 研究科長, 副研究科長
	学舎整備委員会		専攻長が兼務						研究科長, 副研究科長(* 井上)
	教員資格審査委員会		専攻長が兼務						* 研究科長, 副研究科長
	機種選定委員会		専攻長が兼務						
	安全委員会		専攻長が兼務						
	国際交流委員会		専攻長が兼務						研究科長, 副研究科長(* 高岡)
	研究倫理審査委員会		専攻長が兼務						* 研究科長, 副研究科長
	共用スペース運用委員会		専攻長が兼務						研究科長, 副研究科長(* 井上)
安全衛生会議	太田(泰)	小手川	松原	上井	山崎(和)	任期なし		* 研究科長, 副研究科長(高岡) 学生委員, 事務課長, 各係長	
「安全の手引」編集委員会委員	森本	松岡	木村(建)	武石	山崎(和)	任期なし		* 副研究科長(高岡) 協力委員: 理学研究科ネットワーク運営委員会委員長 高山信毅 研究基盤センター・アイトープ部門 宮本昌明	
計量管理責任者				井上		2024. 4. 1～2026. 3.31		研究科長が指名する副研究科長(井上)	
金工室主任			笠原					(副)	
金工室運用会議		大久保	笠原						
神戸大学120年史部局史委員会委員長	福山					2022.11.16～2026.3.31		終期は全学委員の任期	
神戸大学120年史部局史委員会	佐治	菅原	持田	井上	中村	2022.11.16～2027.3.31			
理学域テニュアトラック委員会		竹内				2024. 4. 1～2026. 3.31		その他委員長が必要と認める者	

内海域環境教育センター

役職名	氏名	任期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	上井 進也	2022.4.1～2026.3.31	丑丸敦史教授(発)吉岡祥一教授(理) 段智久教授(海)
副センター長	岡村 秀雄	2022.4.1～2026.3.31	※上井進也教授 ※岡村秀雄教授 ※奥田昇教授 ※三村治夫教授

分子フォトサイエンス研究センター

役職名	氏名	任期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	富永 圭介	2023.4.1～2025.3.31	佐藤春実教授(発)和田昭英教授(理) 南秀人教授(工)
副センター長	立川 貴士	2023.4.1～2025.3.31	※富永圭介教授 ※太田仁教授 ※小堀康博教授 ※立川貴士教授

海洋底探査センター

役職名	氏名	任期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	杉岡 裕子	2024.4.1～2026.3.31	谷口隆晴教授(理)横小路泰義教授(工) 佐俣博章教授(海)
副センター長	勝井 辰博	2024.4.1～2026.3.31	※島伸和教授 ※瀧真輝准教授 ※金子克哉教授 ※石橋純一郎教授 ※山本由茲教授

数理・データサイエンスセンター

役職名	氏名	任期	運営委員会委員(※は任期なし)
センター長	小澤 誠一	2022.4.1～2026.3.31	村尾元教授(国際文) 岩壺健太郎教授(経済)
副センター長	中村 匡秀	2023.4.1～2026.3.31	劉秋生教授(海) 前田英一特命教授(附属病院) ※小澤誠一教授 ※中村匡秀教授 ※藤博之教授 ※木村建次郎教授
副センター長	山田 明	2023.9.1～2026.3.31	※山田明教授 ※堀越啓二特命教授

表 I-5 : 学内各種委員会理学研究科委員名簿 (2024 年度)

2024 年 5 月 1 日現在

委員会等名	任期	氏名(現行)	
理学研究科長		荒川 政彦	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
教育研究評議会		研究科長 (役職指定)	
大学評価委員会			
基金委員会			
保健委員会			
入学試験委員会			
施設マネジメント委員会			
附属図書館審議会			
核燃料物質管理委員会			
学術振興基金運営委員会			
教育研究評議会	2		井上 邦夫
ハラスメント防止委員会	2	竹内 康雄	2022. 11. 1 ~ 2024. 10. 31
ハラスメント相談員	2	松花 沙織	2024. 5. 1 ~ 2025. 12. 31
	1	高橋 芳幸	2023. 10. 1 ~ 2024. 9. 30
ジェンダー平等推進部門協力教員 ※2022.4.1名称変更	2	茶谷 絵理	2024. 5. 1 ~ 2025. 3. 31
技術職員職務協議委員会	なし	内野 隆司	2022. 4. 1 ~
安全衛生委員会	2	古家 圭人	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
		事務課長	
広報委員会	2	山本 由弦	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
ホームカミングディプロジェクチーム委員会	2	山本 由弦	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
国際連携推進機構 国際交流委員会	2	高岡 秀夫	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
留学生委員会	2	森田 光洋	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
学術研究推進機構 学術研究推進委員会	2	高岡 秀夫	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
研究基盤センター運営委員会	2	藏重 久弥 石崎 公庸	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
六甲台地区放射線障害防止委員会	2	山崎 祐司	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
エックス線装置安全管理委員会	2	山崎 祐司	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
化学物質安全管理委員会	2	松原 亮介	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
化学物質安全管理委員会専門委員会	2	津田 明彦	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
化学物質管理者・保護員着用管理責任者 ※2024.4.1名称変更	なし	青沼 仁志 松原 亮介	2024. 4. 1 ~
動物実験委員会	2	青沼 仁志	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
六甲台地区動物実験委員会	2	青沼 仁志	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
遺伝子組換え実験安全委員会(兼安全主任者)	2	石崎 公庸	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
遺伝子組換え実験安全主任者	2	塚本 寿夫	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
病原体等安全管理委員会	2	横井 雅幸	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
研究シーズ取りまとめワーキンググループ		竹内 康雄	2021. 5 ~
大学教育推進機構 全学評価・FD委員会	1	井上 邦夫	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
大学教育推進機構 大学教育推進委員会	1	井上 邦夫	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
大学教育推進機構 全学教務委員会	1	金子 克哉	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
大学教育推進機構 教養教育委員会	1	金子 克哉	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
教職課程専門委員会	1	金子 克哉	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
ESDコース専門委員会	2	金子 克哉	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31
大学教育推進機構 神戸グローバルチャレンジプログラム委員会	2	富永 圭介	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
学生委員協議会 (正)	1	高橋 芳幸	2023. 10. 1 ~ 2024. 9. 30
	1	福山 克司	2023. 10. 1 ~ 2024. 9. 30
神戸大学入学試験DX委員会 ※2023.4.1名称変更	1	福山 克司	2024. 5. 1 ~ 2025. 4. 30
入学試験実施委員会	1	藤 秀樹	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
キャリアセンター運営委員会	1	菅 澤 薫	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター 障害学生支援部門運営会議 ※2022.4.1にキャンパスライフ支援センター会議から改組	1	高橋 芳幸	2023. 10. 1 ~ 2024. 9. 30
入試改革推進本部本部員	1	小堀 康博	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
大学教育推進機構 グローバルサイエンスキャンパス委員会	2	前田 順平	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
初年次セミナー専門委員会	1	影山 裕二	2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31
海外学生派遣委員会	2	富永 圭介	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31

委員会等名	任期	氏名(現行)	
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター 保健管理部門運営会議 ※2022.4.1に保健管理センター運営委員会から改組	1	太田 泰 広	2023.10.1 ~ 2024.9.30
		事務課長	~
環境保全推進センター運営委員会	2	松原 亮 介	2024.4.1 ~ 2026.3.31
環境保全推進員	2	松原 亮 介	2024.4.1 ~ 2026.3.31
中和・曝気槽管理運営ワーキンググループ	1	A棟 古家 圭人	2024.4.1 ~ 2025.3.31
		B棟 小手川 恒	2024.4.1 ~ 2025.3.31
		C棟 坂山 英俊	2024.4.1 ~ 2025.3.31
排水管理責任者	2	坂山 英俊	2023.4.1 ~ 2025.3.31
環境管理センター技術指導員	なし	古家 圭人	2014.4.1 ~
情報セキュリティ委員会	2	菅原 仁	2024.4.1 ~ 2026.3.31
情報基盤センター運営委員会	2	山崎 祐 司	2024.7.1 ~ 2026.6.30
附属図書館運営委員会 (兼自然科学系図書館図書委員会)	2	深城 英 弘	2024.4.1 ~ 2026.3.31
特別管理産業廃棄物管理責任者	1	松原 亮 介	2024.4.1 ~ 2025.3.31
都市安全研究センター運営委員会	2	杉岡 裕 子	2024.4.1 ~ 2026.3.31
内海域環境教育研究センター運営委員会	2	吉岡 祥 一	2024.4.1 ~ 2026.3.31
分子フォッセイナ研究センター運営委員会	2	和田 昭 英	2023.4.1 ~ 2025.3.31
バイオゲナル総合研究センター運営委員会	2	深城 英 弘	2024.4.1 ~ 2026.3.31
海洋底探査センター運営委員会	2	谷口 隆 晴	2024.4.1 ~ 2026.3.31
文理農等キャンパス委員会		学生委員	
		事務課長	
先端バイオ工学研究センター運営委員会	2	太田 泰 広	2024.4.1 ~ 2026.3.31
神戸大学創立120周年記念式典等実行委員会		研究科長	2021.6. ~
神戸大学創立120周年記念募金事業実行委員会		竹内 康 雄	2021.6. ~
神戸大学120年史編集委員会		福山 克 司	2024.4.1 ~ 2026.3.31

II. 教育活動

II-1 入学試験

II-1-1 学部入学試験

現在の理学部入学者（1年次）の定員は153名、これに第3年次編入学者の定員25名を加えて最終的に1学年の定員は178名となる。理学部への入学者の選抜は、通常の入学試験（前期日程：113名、後期日程：35名）及び総合型選抜（生物学科：3名、惑星学科2名）と第3年次編入入学試験によって行われる。2024年度入学のそれぞれの入学試験状況を表II-1～II-2と表II-3に示す。また第3年次編入学生の出身大学種別を表II-4に、入学者の都道府県別分布を表II-5に示す。

表 II-1：2024 年度 学部入学試験状況一覧

	定員	志願者数	倍率	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	113	345(88)	3.05	335(82)	120(28)	120(28)
後期日程	35	364(74)	10.4	170(39)	46(6)	39(3)
総合型選抜	5	7(5)	1.40	4(3)	2(2)	2(2)
合計	153	717(167)	4.69	510(124)	168(36)	161(33)
	★	1(0)	—	1(0)	0(0)	0(0)

() 内の数字は女子を内数で示す

総合型選抜の受験者数は最終選抜の候補者数を示す

★印は私費外国人留学生特別選抜で外数

表 II-2：2024 年度 学科別入学試験状況一覧

学 科	日程区分	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
数学科	前期日程	21	61(8)	60(8)	22(1)	22(1)
	後期日程	7	90(6)	32(2)	9(0)	8(0)
	計	28	152(14)	93(10)	31(1)	30(1)
		★	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)
物理学科	前期日程	25	69(13)	68(13)	25(4)	25(4)
	後期日程	10	109(10)	58(9)	14(0)	13(0)
	計	35	178(23)	126(22)	39(4)	38(4)
		★	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
化学科	前期日程	24	92(18)	88(16)	24(1)	24(1)
	後期日程	6	79(23)	39(15)	8(3)	7(2)
	計	30	171(41)	127(31)	32(4)	31(3)
		★	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
生物学科	前期日程	18	47(24)	47(24)	21(11)	21(11)
	後期日程	4	30(15)	11(4)	5(1)	3(0)
	総合型選抜	3	4(3)	3(2)	1(1)	1(1)
	計	25	81(42)	61(30)	27(13)	25(12)
	★	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
惑星学科	前期日程	25	76(25)	72(21)	28(11)	28(11)
	後期日程	8	56(20)	30(9)	10(2)	8(1)

総合型選抜	2	3(2)	1(1)	1(1)	1(1)
計	35	135(47)	103(31)	39(14)	37(13)
	★	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

()内の数字は女子を内数で示す

総合型選抜の受験者数は最終選抜の候補者数を示す

★印は私費外国人留学生で外数

表 II-3 : 2024 年度 第 3 年次編入学試験概要

学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
数学科		27(0)	27(0)	10(0)	7(0)
物理学科		28(7)	27(7)	7(0)	5(0)
化学科		35(11)	33(11)	7(3)	4(3)
生物学科	25	24(10)	22(9)	6(4)	6(4)
惑星学科		7(3)	7(3)	3(1)	2(1)
合 計		121(31)	116(30)	33(8)	24(8)

()内の数字は女子を内数で示す

表 II-4 : 2024 年度 第 3 年次編入学者出身別分布

学 科	募集人員	高等専門学校	短期大学	4 年制大学	専修学校	計
数学科		2(0)	0(0)	5(0)	0(0)	7(0)
物理学科		2(0)	0(0)	3(0)	0(0)	5(0)
化学科		1(0)	0(0)	3(3)	0(0)	4(3)
生物学科	25	1(1)	0(0)	5(3)	0(0)	6(4)
惑星学科		0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	2(1)
合 計		6(1)	0(0)	18(7)	0(0)	24(8)

()内の数字は女子を内数で示す

表 II-5 : 2024 年度 都道府県別入学志願者数

都道府県	志 願 者		受 験 者		入 学 者					
	人 数	%	人 数	%	人 数	%				
北 海 道	12	(1)	1.7	10	(1)	2.0	3	(1)	1.9	
東 北	青森	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	岩手	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	宮城	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	秋田	1	(1)	0.1	0	(0)	0	0	(0)	0
	山形	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	福島	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	小計	1	(1)	0.1	0	(0)	0	0	(0)	0
関 東	茨城	2	(0)	0.3	1	(0)	0.2	0	(0)	0
	栃木	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	群馬	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0
	埼玉	4	(2)	0.6	3	(1)	0.6	0	(0)	0

	千葉	6	(4)	0.8	5	(3)	1.0	1	(1)	0.6
	東京	11	(3)	1.5	4	(1)	0.8	1	(1)	0.6
	神奈川	6	(0)	0.8	6	(0)	1.2	1	(0)	0.6
	小計	29	(9)	4.0	19	(5)	3.7	3	(2)	1.9
甲信越	新潟	3	(0)	0.4	3	(0)	0.6	1	(0)	0.6
	山梨	1	(0)	0.1	0	(0)	0	0	(0)	0
	長野	10	(3)	1.4	9	(3)	1.8	1	(0)	0.6
	小計	14	(3)	2.0	12	(3)	2.4	2	(0)	1.2
東海	岐阜	16	(5)	2.2	11	(4)	2.2	6	(3)	3.7
	静岡	13	(4)	1.8	7	(3)	1.4	4	(2)	2.5
	愛知	29	(5)	4.0	18	(4)	3.5	6	(2)	3.7
	三重	17	(4)	2.4	9	(3)	1.8	0	(0)	0
	小計	75	(18)	10.5	45	(14)	8.8	16	(7)	9.9
北陸	富山	6	(1)	0.8	5	(0)	1.0	1	(0)	0.6
	石川	10	(1)	1.4	6	(1)	1.2	2	(0)	1.2
	福井	10	(3)	1.4	7	(2)	1.4	2	(0)	1.2
	小計	26	(5)	3.6	18	(3)	3.5	5	(0)	3.1
近畿	滋賀	23	(4)	3.2	15	(4)	2.9	6	(1)	3.7
	京都	54	(13)	7.5	39	(8)	7.6	17	(3)	10.6
	大阪	126	(27)	17.6	92	(19)	18.0	27	(2)	16.8
	兵庫	181	(48)	25.2	131	(35)	25.7	35	(6)	21.7
	奈良	41	(7)	5.7	34	(6)	6.7	15	(3)	9.3
	和歌山	7	(2)	1.0	6	(2)	1.2	1	(0)	0.6
	小計	432	(101)	60.3	317	(74)	62.2	101	(15)	62.7
中国	鳥取	6	(2)	0.8	3	(1)	0.6	3	(1)	1.9
	島根	7	(2)	1.0	3	(0)	0.6	0	(0)	0
	岡山	11	(1)	1.5	9	(1)	1.8	4	(1)	2.5
	広島	21	(3)	2.9	19	(3)	3.7	5	(1)	3.1
	山口	5	(2)	0.7	3	(2)	0.6	1	(0)	0.6
	小計	50	(10)	7.0	37	(7)	7.3	13	(3)	8.1
四国	徳島	10	(2)	1.4	8	(2)	1.6	5	(1)	3.1
	香川	15	(4)	2.1	10	(3)	2.0	0	(0)	0
	愛媛	9	(0)	1.3	6	(0)	1.2	2	(0)	1.2
	高知	6	(2)	0.8	3	(2)	0.6	2	(1)	1.2
	小計	40	(8)	5.6	27	(7)	5.3	9	(2)	5.6
九州	福岡	8	(1)	1.1	4	(0)	0.8	2	(0)	1.2
	佐賀	2	(0)	0.3	1	(0)	0.2	0	(0)	0
	長崎	1	(0)	0.1	0	(0)	0	0	(0)	1
	熊本	6	(3)	0.8	4	(3)	0.8	2	(2)	1.2
	大分	1	(0)	0.1	1	(0)	0.2	0	(0)	0
	宮崎	4	(2)	0.6	4	(2)	0.8	2	(1)	1.2

	鹿児島	2	(0)	0.3	0	(0)	0	0	(0)	0
	沖縄	7	(3)	1.0	5	(3)	1.0	1	(0)	0.6
	小計	31	(9)	4.3	19	(8)	3.7	7	(3)	4.3
	その他	7	(2)	1.0	6	(2)	1.2	2	(0)	1.2
	総計	717	(167)	100	510	(124)	100	161	(33)	100

注 () 内の数字は女子を内数で示す。

II-1-2 大学院博士課程前期課程入学試験

大学院理学研究科博士課程前期課程の入学試験の概要を表 II-6 から表 II-7 に示す。

表 II-6 : 2024 年度 大学院博士課程前期課程入学試験概要

専攻	定員	志願者	受験者	合格者	辞退者	倍率	入学者
数学専攻	22	42(4)	40(4)	32(4)	5(0)	1.8	27(4)
外国人留学生		3(1)	3(1)	2(1)	0(0)		2(1)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
物理学専攻	24	39(3)	39(3)	30(2)	5(1)	1.6	23(1)
外国人留学生		2(1)	2(1)	0(0)	0(0)		0(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
化学専攻	28	41(16)	37(15)	29(11)	1(0)	1.3	28(11)
外国人留学生		4(1)	2(1)	1(0)	0(0)		1(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
生物学専攻	24	40(12)	35(10)	29(9)	4(1)	1.5	25(8)
外国人留学生		1(1)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
惑星学専攻	24	33(5)	31(5)	28(5)	7(1)	1.3	21(4)
外国人留学生		2(0)	2(0)	1(0)	0(0)		1(0)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)
合計	122	195(40)	182(37)	148(31)	24(3)	1.5	124(28)
外国人留学生		12(4)	9(3)	4(1)	0(0)		4(1)
英語コース		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		0(0)

() 内の数字は女子を内数で示す

外国人留学生欄は、外国人留学生特別選抜入学試験

表 II-7 : 2024 年度 出身大学別大学院博士課程前期課程入学者一覧

出身大学	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
神戸大学理学部	19 (1)	22	24	15	19	99 (1)
岡山大学理学部	1					1
東北大学理学部	1					1
広島大学生物生産学部				1		1
弘前大学理工学部	1					1

信州大学理学部	1	1				2
福井県立大学生 物資源学部				1		1
島根大学生物資 源科学部				1		1
鳥取大学医学部				1		1
山口大学農学部				1		1
九州大学農学部				1		1
奈良女子大学理 学部			1			1
兵庫県立大学理 学部				2		2
静岡大学理学部					1	1
青山学院大学理 工学部			1			1
国際基督教大学 教養学部				1		1
関西学院大学理 工学部	1			1		2
近畿大学理工学 部	1					1
城西大学理学部	1					1
中国 上海財経大 学会計学部	1 (1)					1 (1)
中国 海南大学			1 (1)			1 (1)
中国 東南大学			1			1
中国 南京信息工 程大学					1 (1)	1 (1)
合計	27 (2)	23 (0)	26 (1)	25 (0)	21 (1)	124 (4)

() 内の数字は外国人留学生を内数で示す。

II-1-3 大学院博士課程後期課程入学試験

大学院理学研究科博士課程後期課程の入学試験の概要を表II-8に示す。

表 II-8 : 2024 年度 大学院博士課程後期課程入学試験概要

4月入学

専攻	定員	志願者	受験者	合格者	辞退者	入学者
数学専攻	4	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)
物理学専攻	5	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)
化学専攻	6	4(2)	4(2)	4(2)	0(0)	4(2)
生物学専攻	6	5(0)	5(0)	5(0)	0(0)	5(0)
惑星学専攻	6	8(3)	8(3)	8(3)	0(0)	8(3)
合計	27	20(3)	20(3)	20(3)	0(0)	20(3)

学内進学者を含む

() 内の数字は女子を内数で示す

10月入学

専攻	志願者	受験者	合格者	辞退者	入学者
数学専攻	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)
物理学専攻	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)
化学専攻	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)
生物学専攻	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
惑星学専攻	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)
合計	6(1)	6(1)	6(1)	0(0)	6(1)

学内進学者を含む

() 内の数字は女子を内数で示す

II-2 授業の実施状況

理学研究科・理学部では、各専攻・学科の教育課程編成と実施方針に基づき、授業科目を体系的に配置している。2024年度の授業科目数を表 II-9 と表 II-10 に示す。また、授業の実施にあたっては、対面方式での授業と併せて、教育効果を高めるために対面授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリット方式での授業を展開している。2024年度に開講した遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目を表 II-11 と表 II-12 に示す。

表 II-9 : 2024 年度理学部実施授業科目数

		学科共通	数学科	物理学科	化学科	生物学科	惑星学科
講義	必修・ 選択必修	8	40	49	80	68	69
	選択・ その他	1	2	3	3	3	3
演習	必修・ 選択必修	4	1	1	3	2	6
	選択・ その他	5					
実験 ・実習	必修・ 選択必修			7	3	13	9
	選択・ その他	5					

表 II-10 : 2024 年度理学研究科実施授業科目数

		専攻共通	数学専攻	物理学 専攻	化学専攻	生物学 専攻	惑星学 専攻
講義	必修・ 選択必修	2	8	4	7	7	14
	選択・ その他	4	23	19	12	15	30
演習	必修・ 選択必修	1	3	7	10	4	10
	選択・ その他						
実験 ・実習	必修・ 選択必修						1
	選択・ その他						

表 II-11 : 2024 年度理学部遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目

No.	学科	授業科目名	開講形態
1	物理学科	量子力学 I	ハイブリッド (対面)
2	物理学科	古典力学	ハイブリッド (対面)
3	物理学科	化学科物理学概論	ハイブリッド (対面)
4	物理学科	生物学科物理学概論	ハイブリッド (対面)
5	物理学科	惑星学科物理学概論	ハイブリッド (対面)
6	物理学科	現代物理学	ハイブリッド (対面)
7	物理学科	量子力学 II	ハイブリッド (対面)
8	物理学科	古典電磁気学	ハイブリッド (対面)
9	物理学科	素粒子物理学	ハイブリッド (対面)
10	化学科	有機化学 II-1	ハイブリッド (対面)
11	化学科	化学熱力学 III-1	ハイブリッド (対面)
12	化学科	化学反応論 1	ハイブリッド (対面)
13	化学科	有機構造化学 1	ハイブリッド (対面)
14	化学科	化学熱力学 II-1	ハイブリッド (対面)
15	化学科	化学熱力学 III-1	ハイブリッド (対面)
16	化学科	有機化学 II-2	ハイブリッド (対面)
17	化学科	有機構造化学 2	ハイブリッド (対面)
18	化学科	化学熱力学 II-2	ハイブリッド (対面)
19	化学科	有機化学 III-1	ハイブリッド (対面)
20	化学科	生物化学 I-1	ハイブリッド (対面)
21	化学科	分析化学 I-1	ハイブリッド (対面)
22	化学科	有機化学 III-2	ハイブリッド (対面)
23	化学科	生物化学 I-2	ハイブリッド (対面)
24	化学科	分析化学 I-2	ハイブリッド (対面)
25	生物学科	生化学基礎 2	ハイブリッド (対面)
26	惑星学科	宇宙惑星科学 1	ハイブリッド (対面)
27	惑星学科	固体惑星探査学	ハイブリッド (対面)
28	惑星学科	特別講義 固体惑星探査学	ハイブリッド (対面)
29	惑星学科	惑星流体力学	ハイブリッド (対面)

表 II-12 : 2024 年度理学研究科遠隔授業・ハイブリット方式の授業科目

No.	専攻	授業科目名	開講形態
1	数学専攻	計算情報数学	ハイブリッド (対面)
2	数学専攻	先端融合科学特論 A (数学)	ハイブリッド (対面)
3	数学専攻	数学コミュニケーション続論	ハイブリッド (対面)
4	化学専攻	構造解析学	ハイブリッド (遠隔)
5	化学専攻	有機化学 II	ハイブリッド (遠隔)
6	化学専攻	物理化学 I	ハイブリッド (対面)
7	化学専攻	物理化学特論 I	ハイブリッド (対面)
8	化学専攻	構造解析学特論	ハイブリッド (遠隔)
9	惑星学専攻	基礎惑星学特論 I	ハイブリッド (対面)

10	惑星学専攻	新領域惑星学特論 I	ハイブリッド (対面)
11	惑星学専攻	基礎惑星学特論 I-1	ハイブリッド (対面)
12	惑星学専攻	基礎惑星学特論 I-2	ハイブリッド (対面)
13	惑星学専攻	新領域惑星学特論 I-1	ハイブリッド (対面)
14	惑星学専攻	新領域惑星学特論 I-2	遠隔

II-3 授業改善の取り組み

II-3-1 学生による授業評価

理学研究科・理学部では、学生による授業評価を専攻・学科ごとに実施してきた。授業改善のためには、それぞれの教員の工夫と努力が必要であり、これまでも数々の個別の努力が「分かりやすい授業」をめざして続けられて来た。学生による授業評価は、このような教員ごとの授業改善の一助として使われることを目的として行なわれている。アンケートの質問形式、回答形式、回収方法、集計とデータの公表の仕方などは、専攻・学科ごとの特性に合わせた工夫がなされ今日に至っている。

平成 16 年度からは、理学研究科・理学部の正式な事業として学生による授業評価を行っている。また、この学生による授業評価を用いて、授業に何らかの問題がある場合に、これを早期に発見し、検証し、不都合がある場合は改善を授業担当者に勧告するシステムを各専攻・学科でスタートした。このシステムの中心になるのは各専攻の専攻長と自己評価委員である。

平成 18 年度後期からは全学的に統一された Web 形式での授業評価アンケートが実施されている。これは、学生からの意見や質問に対して回答できるシステムとなっており、これまで一方的であった学生による授業評価が双方向的になっている。この全学 Web 方式の授業評価アンケートの回答率は 10%前後であり、授業改善のための基礎資料として不十分であった為、理学部・理学研究科では独自にマークシート方式の授業評価アンケートを平成 22 年度からおこなってきた。この方式では、60%前後と高い回答率を実現できていた。

しかしながら、コロナ禍を契機に令和 3 年度より、マークシート方式・Web 方式を併用した授業評価アンケートによる調査から全面的に Web 方式による実施となった。

表 II-13 に集計結果を示す。履修登録数に対する回答率は、理学部で昨年度とほぼ同水準の 25%前後、理学研究科で昨年度の 20%前後から大きく低下し 10%前後であった。理学部に比べて理学研究科の授業については回答率が依然として低い。特に、昨年度と比較すると理学研究科の回答率が低下したため、改善に関しては、引き続き各講義担当教員から口頭で周知するなどにより、回答率向上の取り組みが必要になると考える。

授業評価の結果は各専攻の自己評価委員から各教員にフィードバックされ、授業改善に役立てられている。これと連動する形で平成 22 年度から教員の教育活動の実績について自己評価という形で各教員がまとめ、この年次報告書に組み込んでいる。従って、授業評価アンケートの結果は各教員が年次報告書中の「教育活動の記録」を作成する際の重要な基礎資料となっている。

表 II-13 : 授業振り返りアンケート集計結果 (2024 年度)

前期					
	対象授業科目	履修登録	実施科目	回答者	回答率
理学部	138	4011	103	1016	25.3
理学研究科	33	602	23	69	11.5
5 計	171	4613	126	1085	23.5

後期					
	対象授業科目	履修登録	実施科目	回答者	回答率
理学部	161	3970	122	968	24.4
理学研究科	21	288	5	26	9.0
計	182	4258	127	994	23.3

評価点(前期)		
設問番号	前期集計	前期集計
	学部	研究科
1	2.33	2.77
2	3.98	3.75
3	3.73	3.62
5(複数回答可)	—	—
7	4.29	4.22
8	4.52	4.46
1-8 の平均	3.77	3.77
自由記述欄 4	91 件/1016 件	6 件/69 件
自由記述欄 6	149 件/1016 件	5 件/148 件

評価点(後期)		
設問番号	後期集計	後期集計
	学部	研究科
1	2.62	2.62
2	3.87	4.27
3	3.68	3.73
5(複数回答可)	—	—
7	4.18	4.73
8	4.44	4.73
1-8 の平均	3.76	4.02

自由記述欄 4	64 件/968 件	5 件/26 件
自由記述欄 6	121 件/968 件	2 件/26 件

II-3-2 授業参観（ピアレビュー）

平成 21 年度から全学的な FD 活動の一環として、教員相互による授業参観（ピアレビュー）を実施している。学生による授業評価アンケートとは異なる視点からの授業改善に向けた取り組みであり、表 II-14 に実施状況を示す。

表 II-14 : 教員相互による授業参観実施状況（2022-2024 年度）

年度	数学			物理学			化学			生物学			惑星学		
	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24
学部(前期)	17	13	12	27	0	0	12	7	6	32	29	51	0	0	0
学部(後期)	0	0	0	60	0	0	0	3	0	22	11	0	0	0	0
大学院(前期)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	28	16
大学院(後期)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	10
計(人)	17	13	12	87	0	0	12	10	6	54	40	51	33	32	26

II-4 学生生活の支援

学生の修学を支援するための奨学金や授業料減免の状況を表 II-15 から表 II-21 に示す。また、大学院後期課程学生が研究に専念するための経済的支援に関する状況を表 II-22 に示す。

表 II-15：学部学生の奨学金受給状況（2024 年度）

日本学生支援機構奨学金

種別	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
第一種(無利子)	13	11	10	12	13	59
第二種(有利子)	3	15	12	10	13	53
給付型	12	7	11	10	13	53
計	28	33	33	32	39	165

第一種及び第二種の併用貸与は、それぞれに計上

表 II-16：大学院前期課程学生の奨学金受給状況（2024 年度）

日本学生支援機構奨学金

種別	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
第一種(無利子)	7	9	5	6	7	34
第二種(有利子)	0	0	0	1	0	1
計	7	9	5	7	7	35

第一種及び第二種の併用貸与は、それぞれに計上

表 II-17：大学院後期課程学生の奨学金受給状況（2024 年度）

日本学生支援機構奨学金

種別	数学	物理学	化学	生物学	惑星学	計
第一種(無利子)	1	4	5	5	2	17
第二種(有利子)	0	0	0	1	1	2
計	1	4	5	6	3	19

第一種及び第二種の併用貸与は、それぞれに計上

表 II-18：学部学生の授業料減免状況（2024 年度）

種別	数 学		物 理 学		化 学		生 物 学		惑 星 学		合 計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
申請者数	15	15	14	14	12	13	12	12	17	18	70	72
全額免除	9	9	5	3	8	9	7	7	10	11	39	39
半額免除	3	1	2	3	1	1	3	2	6	3	15	10
2/3 免除	3	4	3	1	1	2	1	1	0	4	8	12
1/3 免除	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2

表 II-19 : 大学院前期課程学生の授業料減免状況 (2024 年度)

種別	数 学		物 理 学		化 学		生 物 学		惑 星 学		合 計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
申請者数	7	5	12	11	13	13	6	7	7	7	45	43
全額免除	5	4	8	7	9	9	3	4	5	5	30	29
半額免除	0	0	4	4	4	4	3	3	2	2	13	13

表 II-20 : 大学院後期課程学生の授業料減免状況 (2024 年度)

種別	数 学		物 理 学		化 学		生 物 学		惑 星 学		合 計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
申請者数	5	7	4	4	9	10	12	10	6	6	36	37
全額免除	5	7	3	4	7	7	11	8	6	6	32	32
半額免除	0	0	0	0	1	2	1	2	0	0	2	4

表 II-21 : 各種奨学金の受給状況 (2024 年度)

	数 学	物 理 学	化 学	生 物 学	惑 星 学
学部	みなと銀行育英会 電通育英会 島根県育英会奨学資金	三木市教育委員会奨学金	フジシール財団 ほくと育英会 森下育英会 中山報恩会 平和中島財団	大阪造船所奨学会 中山報恩会	村尾育英会 電通育英会 福岡育英会
大学院	SGH 財団 ウシオ財団 フジシール財団	竹中育英会 中山報恩会	伊藤忠兵衛基金 吉村財団 戸部眞紀財団	ウシオ財団 中西奨学会	吉村財団

表 II-22 : 大学院後期課程学生支援プロジェクトの実施状況

神戸大学博士学生フェロシップ制度 (2021 年度より実施、2024 年度以降は「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に統合)

(文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」)

年度	新規採用者数
2023	2
2022	3
2021	2

支援内容：研究専念支援金、研究費、授業料全額免除

神戸大学「異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト」 (2021 年度より実施)

(国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」)

年度	新規採用者数
2024	18
2023	8
2022	13
2021	20

支援内容：研究専念支援金、研究費

※2024 年度の採用者数は元フェロシップ生を含む。

II-5 就職の支援

大学院生・学部生の就職活動の組織的な支援は「理学研究科・理学部就職委員会」が行っている。「理学研究科・理学部就職委員会」は2004年度に「理学部就職委員会」として設置（「神戸大学理学部就職委員会内規」）され、2007年4月に部局改組に伴い改組改名された組織である。理学部における従前の就職支援活動は学科ごとの個別の対応に過ぎず、学科間の就職関連情報の共有と学科横断の就職支援活動は十分ではなかった。「理学部就職委員会」は、近年の就職状況の多様化と競争激化の潮流に対応するため、理学部教務学生係、理学部キャリアサポートネットワーク(KSN、後に理学部同窓会就職支援委員会に一本化)の支援を受けて設立され、設立と同時に理学部同窓会の全面的協力も得て有効な活動を続けてきた。現在、「理学研究科・理学部就職委員会」は、数学、物理学、化学、生物学、惑星学の各専攻より1名の委員で構成され、委員会オブザーバとして理学研究科副研究科長、理学部同窓会会長ならびに同就職支援委員会委員長の参加のもとに、教務学生係がその事務を担当している。2024年度の「理学研究科・理学部就職委員会」の活動状況は以下のとおりである。

II-5-1 理学研究科・理学部就職委員会主催の就職支援講座開催

2024年度の理学研究科・理学部就職委員会（以下就職委員会）の就職支援活動は、就職活動に最低限必要な常識を身につけさせるために4回の就職支援講座等を設定した。主な対象は、学部3年生および修士1年生である。就職委員会が主催した就職支援講座等の概要と参加者数を表II-23に示す。

表 II-23：就職対策講座実施状況（2024年度）

	開催日 会場	テーマ	参加者数
第1回	10月17日(木) Y201教室	「自己PR・ES対策」 〔講師：武田佳久氏〕	16 学部生 3 大学院生 13
	10月24日(木) Y201教室	「就活・進学選考(GD)」 〔講師：武田佳久氏〕	15 学部生 2 大学院生 10 未回答 3
第3回	10月31日(木) Y201教室	「集団面接体験」 〔講師：武田佳久氏〕	13 学部生 0 大学院生 13
	11月7日(木) Y201教室	「個人面接体験」 〔講師：武田佳久氏〕	8 学部生 1 大学院生 7

前年度と同様に、理学部就職委員会および理学部同窓会就職支援委員会は、武田佳久氏を就職委員会に招き、理学系学部生・大学院生対象の就職支援講座の内容について打ち合わせを行った。それに基づき、武田氏に就職支援講座の講師をお願いした。

就職委員会と理学部同窓会（くさの会）就職支援委員会との共催による「理学系 OB・OG 合同会社説明会」を例年開催しており、数学、物理学、化学、生物学、惑星学の5専攻（学科）全体を主対象に理学系の学部生・大学院生が参加できるように、前年度までに蓄積された企業リストなどをもとに、理学部卒業生・理学研究科修了生などを招いての開催を計画している。本説明会は求人求職に直結する求人説明会ではない。職業人として企業と社会へ貢献する方法や、貢献の土台として在学中に身につけておくべきスキルなどを、先輩である理学系OB・OGから親しくうかがう機会を在校生に提供するキャリア教育の場である。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度と2021年度のOB・OG合同会社説明会の開催は中止となった。2022年度は2月20日に、2023年度は12月15日に3月からの本格的な就職活動シーズンを前にした「理学系OB・OG交流会」を開催した。2024年度は時期を早めて11月29日に開催した。2025年度はさらに時期を早めて10月31日に開催予定である。

2024年度「理学系OB・OG交流会」の概要

開催日：2024年11月29日（金）14：00～19：00

会場：理学部Z棟、Y棟、B棟

スケジュール：13：30～ 学生受付 更新お願いします

14：00～14：30 第一部 全体交流会

14：30～17：15 第二部 企業別教室での交流会

17：40～19：00 OB・OG社員との懇親会

参加企業〔18社(42名)、順不同〕

アルトナー（1名）、（一財）日本気象協会（2名）、宇宙技術開発（2名）、東芝（2名）、オースビー（3名）、キャノン（2名）、神戸製鋼所（3名）、コベルコ科研（2名）、デンソーテン（2名）、東陽テクニカ（1名）、長瀬産業（2名）、大和製衡（2名）
（独）エネルギー・金属鉱物資源機構（4名）、日立製作所（4名）、三菱電機（3名）、フードテクノエンジニアリング（2名）、三ツ星ベルト（2名）、村田製作所（2名）

II-5-2 その他の活動

- (1) KTC 就職セミナー：神戸大学工学振興会（KTC）と理学部同窓会（くさの会）就職委員会が主催するKTC 就職セミナー（<http://www.ktc-seminer.net/>）の広報を就職委員会が積極的に担うこととし、理学部各専攻・学科の就職希望院生・学部生へのKTC就職セミナーへの参加を推奨し、就職情報の提供に努めた。特に、就職活動開始時期の早い、化学、生物、食品、製薬、医療などの分野の企業・業界研究や就職活動情報をはじめとした、強い企業人脈を持つKTCの有用な情報は、理学研究科・理学部の学生達にも大いに利用されている。

- (2) 各専攻における企業訪問対応：企業の採用担当者の訪問には各専攻就職委員が個別に対応し、得られた情報を専攻内へ共有した。

II-5-3 「理学部学生支援室」

2012年の学舎再配置の際に「学生コモンルーム」が開設され、その一角に学生支援室の機能を持たせた。平日午前8時30分より午後10時までの時間帯で開放している。学生の就職支援だけでなく、理学部学生の交流や自主学習、自主ゼミ等のスペースとして活用されている。

学生コモンルーム正面に設置した掲示板はこれまで求人求職情報（求人説明会など）とキャリア教育情報（インターンシップなど）を区別せずに掲示してきた。キャリア教育活動の比重が高まってきたことを受け、掲示板を2分割して求人求職活動とキャリア教育活動を区別して学生に周知することに改めた。

2017年に神戸大学ラーニングコモンズに登録し、全学に公開することで、学内の共有スペースとしてさらなる活用を図っている。

II-5-4 理学部同窓会との連携

- (1) 「理学部同窓会就職支援委員会」が2004年度に設立された。「理学部同窓会就職支援委員会」の活動は2005年度に軌道に乗り、「理学部キャリアサポートネットワーク（KSN）」は2005年度に発展的に「理学部同窓会就職支援委員会」に一本化された。
- (2) 「本学部学生の就職支援に関する懇談会」を2005年2月に開催し、理学部就職委員、理学部同窓会就職支援委員会委員が参加した。本学部を取り巻く状況について説明・紹介し、就職支援のあり方、方策について懇談、理学部と同窓会とが協力して就職支援を進めることを確認した。その後、両委員会は協力して学生の就職活動支援を進めてきている。
- (3) 2005年以降毎年開催してきた「理学系OB・OGによる合同会社説明会」を共催している。2022年度からは、3月からの本格的な就職活動シーズンを前にした「理学系OB・OG交流会」を開催している。
- (4) 「理学部OB・OGリスト（民間企業、教育機関）」は理学部同窓会により作成され、学生コモンルームに掲示している。
- (5) 理学研究科・理学部就職委員会には「理学部同窓会就職支援委員会」の委員の参加をお願いし（前述）、各種就職支援行事は理学研究科・理学部就職委員会と理学部同窓会就職支援委員会との共催として実施している。本年度も理学部同窓会にはこれらの事業実施において多大な貢献をいただいた。

II-6 卒業、修了及びその後の進路

理学部卒業生、及び大学院理学研究科修士課程の状況とその後の進路についての状況を下記の表にまとめた。さらに日本学術振興会の DC および PD に採用になった学生数をまとめた。また、大学院理学研究科博士課程大学院生の TA、RA への採用状況も補足的なデータとなるが、まとめている。

II-6-1 学部卒業生・大学院前期課程修了生の進路

学部学生の卒業後の進路（進学・就職）および理学系大学院前期課程の修了生の修了後の進路の過去5年間の状況を、次ページ以降に年度ならびに学科・専攻ごとに表 II-24 から表 II-33 に示す。

表 II-24：学部卒業生の進路（数学科）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	4	8	6	8	*7
教員	3	2	4	1	2
地方公務員	0	2	0	0	0
国家公務員	1	0	1	0	0
神戸大学大学院	11	14	20	20	16
京都大学大学院	0	1	2	1	1
大阪大学大学院	0	0	0	1	0
名古屋大学大学院	1	2	1	1	2
東京科学大学大学院	0	0	0	0	1
東京工業大学	0	0	0	1	0
東北大学大学院	0	1	0	0	0

*2024 年度民間就職先：EY ストラテジー・アンド・コンサルティング、カメラのキタムラ、島津トラステック、日能研関西、ビーブレイクシステムズ、丸紅、ワールドインテック

表 II-25：学部卒業生の進路（物理学科）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	10	4	2	9	*3
教員	0	0	0	0	0
地方公務員	0	1	0	0	0
国家公務員	0	1	0	0	0
国立大学法人	0	1	0	0	0
神戸大学大学院	18	22	19	22	18
大阪大学大学院	1	5	5	5	4
九州大学大学院	1	0	0	0	0
筑波大学大学院	0	0	0	1	1

東京大学大学院	2	0	1	1	0
東京工業大学大学院	0	0	1	0	0
名古屋大学大学院	2	1	1	1	1
兵庫教育大学大学院	0	2	1	1	0
北海道大学大学院	0	0	0	0	1
三重大学大学院	0	0	1	0	0
サセックス大学大学院	0	0	0	1	0
航空大学校	0	0	0	1	0

*2024 年度民間就職先：SMBC 日興証券、全日本空輸、みずほ証券

表 II-26：学部卒業生の進路（化学科）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	9	4	4	5	*6
地方公務員	0	0	1	1	1
神戸大学大学院	22	26	30	24	23
大阪大学大学院	1	2	0	0	0
東京大学大学院	2	0	0	0	0
奈良先端科学技術大学院大学	0	1	1	1	0
神戸大学大学院研究生	1	0	0	0	0

*2024 年度民間就職先：アエナ、アビームコンサルティング、荒川化学工業、東芝デバイス&ストレージ、日本ゼオン、三菱ガス化学

表 II-27：学部卒業生の進路（生物学科）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	4	4	3	5	*4
教員	0	1	0	0	0
地方公務員	0	0	1	0	0
神戸大学大学院	21	21	18	16	23
大阪大学大学院	0	1	2	2	1
京都大学大学院	2	4	2	1	2
総合研究大学院大学先端学術院	0	0	0	1	0
筑波大学大学院	0	0	0	1	0
東京大学大学院	1	1	0	1	0
Pennsylvania State University	0	0	1	0	0

*2024 年度民間就職先：NTT データ関西、コア中四国カンパニー、ビジョン・コンサルティング、モロゾフ

表 II-28 : 学部卒業生の進路 (惑星学科)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	9	10	5	7	* 7
教員	0	0	0	1	1
地方公務員	2	1	0	0	0
国家公務員	0	0	3	1	1
神戸大学大学院	20	22	21	19	22
大阪公立大学大学院	0	1	0	0	0
大阪大学大学院	0	0	1	1	0
京都大学大学院	0	0	0	2	0
東京工業大学院	0	1	0	1	0
東京大学大学院	0	0	2	1	0
東北大学大学院	0	0	0	1	0
総合研究大学院大学	0	0	0	0	0
名古屋大学大学院	0	0	2	0	0

*2024 年度民間就職先 : アプリシエイトグループハーベスト、宇宙技術開発、神戸製鋼所、DG
 フィーリスト、フロンティアホールディングス、三菱電機ソフトウェア、三菱 UFJ 銀行

表 II-29 : 大学院前期課程修了生の進路 (数学専攻)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	13	7	11	17	* 14
教員	0	3	1	2	1
国家公務員	1	1	0	0	1
神戸大学大学院	2	3	2	1	3

*2024 年度民間就職先 : アテック、ソフトバンク、第一生命保険(2)、大樹生命保険、DYM、デ
 ンソーテン、東京書籍、東京海上日動火災保険、西日本旅客鉄道、日本プロセス、半導体エネ
 ルギー研究所、光ビジネスフォーム、フレクト

表 II-30 : 大学院前期課程修了生の進路 (物理学専攻)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
民間	16	17	13	18	* 11
教員	1	1	1	1	1
国家公務員	0	0	1	0	0
国立研究開発法人	0	1	0	0	0
神戸大学大学院	2	4	3	1	5
大阪公立大学大学院	0	0	1	0	0
東京大学大学院	0	0	0	1	0
広島大学大学院	1	0	0	0	0

*2024 年度民間就職先 : アプリズム、NTT docomo、くふうカンパニー、コベルコ科研、島津

製作所、ソフトバンク、三菱UFJアセットマネジメント、モリタ製作所、Luke、ローム、ヤマト運輸

表 II-31 : 大学院前期課程修了生の進路 (化学専攻)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
民間	19	17	22	22	*19
教員	1	0	0	0	0
国家公務員	1	0	0	0	0
地方公務員	0	0	1	0	0
神戸大学大学院	6	3	2	4	4

*2024年度民間就職先：アスパーク、石原ケミカル、伊藤ハム、コニシ、JSR、住友化学、住友電工、積水化学工業、全日本空輸、デクセリアルズ、東ソー、東レ(3)、日本電気硝子、パナソニックエナジー、HOYA、みずほリサーチ&テクノロジーズ、ワイエムシィ

表 II-32 : 大学院前期課程修了生の進路 (生物学専攻)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
民間	16	19	14	21	*18
教員	1	0	0	0	0
国家公務員	1	0	0	1	0
神戸大学大学院	4	3	5	3	0

*2024年度民間就職先：アイル、イーソル、インターサイエンス社、協和キリン、JCR ファーマ、住友化学、成和化成、全星工業、第一実業ビスウィル、TOA、日本経済新聞社、日本新薬、日本製紙、パナソニックインダストリー、扶桑薬品工業、ベネッセコーポレーション、マルホ、明治安田生命保険相互会社

表 II-33 : 大学院前期課程修了生の進路 (惑星学専攻)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
民間	10	13	13	11	*13
教員	0	1	0	0	0
地方公務員	0	1	0	0	0
国家公務員	1	1	1	2	1
神戸大学大学院	5	1	2	8	3
他大学(医学部)	1	0	0	0	0

*2024年度民間就職先：INPEX、ENEOS、川崎重工業、旭光電機、GSユアサ、Sky、日本航空、パナソニックインフォメーションシステムズ(2)、東日本旅客鉄道、ユニタイト、レバレッジーズ、ルネサスエレクトロニクス

II-6-2 卒業、大学院博士前期課程修了、博士学位取得状況の年次推移

神戸大学理学部、理学研究科における過去5年間（2020年度-2024年度）の学位取得の状況を年度ごと、理学部全体、及び学科・専攻ごとに分けて示す。

表 II-34 : 理学部卒業生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2013	1								
	2014	1								
	2015	3	2015	2						
	2016	11	2016	3						
	2017	127	2017	10	2017	4				
			2018	130	2018	7	2018	4	2018	1
					2019	138	2019	7		
							2020	134	2020	9
									2021	130
									2022	1
	計	143	計	145	計	149	計	145	計	141
3年次 編入生 3月 卒業生	2018	2								
	2019	24								
			2020	25						
					2021	22	2021	2		
							2022	21	2022	2
								2023	23	
	計	26	計	25	計	22	計	23	計	25
計		169		170		171		168		166
学部 9月 卒業生			2013	1						
			2016	1						
			2017	1						
							2019	3	2019	1
		計	0	計	3	計	0	計	3	計
3年次 編入生 9月 卒業生					2020	1				
		計	0	計	0	計	1	計	0	計
計		0		3		1		3		1

表 II-35 : 数学科卒業生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2015	1								
	2016	1	2016	1						
	2017	24	2017	2	2017	1				
			2018	25			2018	1		
					2019	27	2019	1		
							2020	23	2020	3
									2021	20
	計	26	計	28	計	28	計	25	計	23
3年次 編入生 3月 卒業生	2019	3								
			2020	6						
					2021	6	2021	2		
							2022	7		
									2023	11
	計	3	計	6	計	6	計	9	計	11
計		29		34		34		34		34
学部 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
3年次 編入生 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		0		0		0

表 II-36 : 物理学科卒業生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2013	1								
	2015	1	2015	1						
	2016	2	2016	1						
	2017	27	2017	5	2017	1				
			2018	24	2018	4	2018	2	2018	1
					2019	25	2019	4		
							2020	31		
									2021	29
									2022	1
	計	31	計	31	計	30	計	37	計	31
3年次 編入生 3月 卒業生	2018	1								
	2019	7								
			2020	6						
					2021	5				
							2022	4	2022	1
									2023	3
	計	8	計	6	計	5	計	4	計	4
計		39		37		35		41		35
学部 9月 卒業生							2019	2		
	計	0	計	0	計	0	計	2	計	0
3年次 編入生 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		0		2		0

表 II-37 : 化学科卒業生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2014	1								
			2015	1						
	2016	2	2016	1						
	2017	24	2017	2	2017	1				
			2018	25	2018	2				
					2019	29	2019	1		
							2020	27	2020	2
									2021	25
	計	27	計	29	計	32	計	28	計	27
3年次 編入生 3月 卒業生	2018	1								
	2019	7								
			2020	4						
					2021	5				
							2022	4	2022	1
									2023	3
	計	8	計	4	計	5	計	4	計	4
計		35		33		37		32		31
学部 9月 卒業生			2013	1						
			2016	1						
			2017	1						
		計	0	計	3	計	0	計	0	計
3年次 編入生 9月 卒業生										
		計	0	計	0	計	0	計	0	計
計		0		0		3		0		0

表 II-38 : 生物学科卒業生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2016	3								
	2017	23			2017	1				
			2018	25						
					2019	22				
							2020	22	2020	1
									2021	26
	計	26	計	25	計	23	計	22	計	27
3年次 編入生 3月 卒業生	2019	5								
			2020	6						
					2021	5				
							2022	4		
									2023	5
	計	5	計	6	計	5	計	4	計	5
計		31		31		28		26		32
学部 9月 卒業生							2019	1		
	計	0	計	0	計	0	計	1	計	0
3年次 編入生 9月 卒業生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0
計		0		0		0		1		0

表 II-39 : 惑星学科卒業生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数	入学 年度	卒業 者数
学部 3月 卒業生	2015	1								
	2016	3								
	2017	29	2017	1						
			2018	31	2018	1	2018	1		
					2019	35	2019	1		
							2020	31	2020	3
									2021	30
	計	33	計	32	計	36	計	33	計	33
3年次 編入生 3月 卒業生	2019	2								
			2020	3						
					2021	1				
							2022	2		
									2023	1
	計	2	計	3	計	1	計	2	計	1
計		35		35		37		35		34
学部 9月 卒業生									2019	1
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	1
3年次 編入生 9月 卒業生					2020	1				
	計	0	計	0	計	1	計	0	計	0
計		0		0		1		0		1

表 II-40 : 理学研究科博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3月 修了生	2017	1								
	2018	3								
	2019	105	2019	5						
			2020	102	2020	1	2020	1		
					2021	94	2021	4		
							2022	113	2022	1
									2023	105
	計	109	計	107	計	95	計	118	計	106
9月 修了生	2018	2								
			2019	3						
					2020	3			2020	1
							2021	3		
									2022	8
	計	2	計	3	計	3	計	3	計	9

表 II-41 : 数学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3月 修了生	2019	17	2019	2						
			2020	17						
					2021	16				
							2022	23		
									2023	22
	計	17	計	19	計	16	計	23	計	22
9月 修了生									2020	1
									2022	1
		計	0	計	0	計	0	計	0	計

表 II-42 : 物理学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3月 修了生	2018	3								
	2019	18	2019	1						
			2020	23			2020	1		
					2021	19	2021	1		
							2022	22	2023	19
	計	21	計	24	計	19	計	24	計	19
9月 修了生									2022	1
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	1

表 II-43 : 化学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2023	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3月 修了生	2017	1								
	2019	30	2019	1						
			2020	20	2020	1				
					2021	23	2021	1		
							2022	24		
		計	31	計	21	計	24	計	25	計
9月 修了生	2018	2								
			2019	2						
					2020	3				
							2021	2		
		計	2	計	2	計	3	計	2	計

表 II-44 : 生物学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3月 修了生	2019	22								
			2020	25						
					2021	20	2021	2		
							2022	23		
									2023	21
	計	22	計	25	計	20	計	25	計	21
9月 修了生										
	計	0	計	0	計	0	計	0	計	0

表 II-45 : 惑星学専攻博士課程前期課程修了生数の推移

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数	入学 年度	修了 者数
3月 修了生	2019	18	2019	1						
			2020	17						
					2021	16				
							2022	21		
									2023	19
	計	24	計	18	計	18	計	21	計	19
9月 修了生			2019	1					2019	1
							2021	1	2021	1
	計	0	計	1	計	0	計	1	計	2

表 II-46 : 理学研究科博士課程後期課程学位授与状況

年度	2020		2021		2022		2023		2024	
	入学年度	修了者数	入学年度	修了者数	入学年度	修了者数	入学年度	修了者数	入学年度	修了者数
3月 修了生	2016	8								
			2017	4						
	2018	1								
			2019	4	2019	2	2019	1		
					2020	8	2020	3		
							2021	15		
									2022	10
	計	9	計	8	計	10	計	19	計	10
9月 修了生			2013	1						
			2015	1						
			2016	3	2016	1				
	2017	1								
					2019	3				
									2021	2
		計	1	計	5	計	4	計	0	計

理学研究科博士学位取得後の進路は表 II-47 のようになっている。

表 II-47 : 博士学位取得者の進路 (2024 年度)

職種	人数	職種	人数
企業	1	神戸大学大学院 理学研究科研究員	1
教員	1	その他	9

論文博士による学位取得者数を表 II-48 に示す。

表 II-48 : 論文博士学位取得者

年度	取得者
2020	2
2021	0
2022	1
2023	1
2024	1

II-6-3 TA、RAの採用状況

2024年度の大学院理学研究科大学院生のTAおよびRAへの採用状況を表II-49に示す。

表 II-49 : TA および RA の採用人数 (延べ人数)

	数学専攻	物理学専攻	化学専攻	生物学専攻	惑星学専攻	計
SA/TA/STA	18	30	48	32	35	163
RA	2	2	4	1	1	10

II-6-4 PD、DCの採用状況

2024年度に、日本学術振興会特別研究員(PD/RPDおよびDC)として大学院理学研究科に採用(継続・転入含む)された人数を表II-50に示す。

表 II-50 : 学振 PD/RPD および DC の採用数 (2024 年度)

領域別	PD/RPD	DC	計
数学専攻	0	0	0
物理学専攻	0	3	3
化学専攻	0	0	0
生物学専攻	1	2	3
惑星学専攻	0	2	2
計	1	7	8

学術振興会以外の研究員等として理学系で採用したものの数を表II-51に示す。

表 II-51 : その他研究員等の採用 (2024 年度)

職種	摘要	人数
講師 (研究機関研究員)	分子フォトサイエンス研究センター	0
	内海域環境教育研究センター	0
学術研究員		17

II-6-5 ディプロマ・ポリシー達成度アンケート

学部卒業生、大学院博士課程前期課程、および博士課程後期課程修了生に対して行ったディプロマ・ポリシー (DP) 達成度アンケートについて内容と結果を示す。

2022年度までは、学部卒業生についてはweb方式により、大学院修了生については紙媒体によるアンケート調査を行っていたが、2023年度から卒業・修了時アンケートとして、全面的にweb方式による実施となった。

集計結果を以下の表に示す。2023年度に引き続き、2024年度も卒業・修了時アンケートにおいて「公用掲示板をうりぼーネット掲示板などに変更して、ネットワーク経由で読めるように電子化する」ことについての意見照会を行った。掲示板の電子化の要望が多数あがったことを

受け、部局電子掲示板 (BEEF+ Venture) を立ち上げ、2024 年 10 月から半年間の試行運用を経て、2025 年度より本格運用を開始する運びとなった。

【理学部】

問 1 あなたは、理学部各学科のディプロマ・ポリシー (DP) を知っていますか。

選択肢： 1.よく知っていた / 2.ある程度知っていた / 3.どちらともいえない / 4.あまり知らなかった / 5.全く知らなかった

問 2 理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、(数学の基礎・物理学の基礎・化学の基礎・生物学の基礎・惑星学に必要な基礎) を理解し応用する能力がどの程度身についたと思いますか。() 内は学科名に対応する)

問 3 <数学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、数学の中核を理解し応用する能力がどの程度身についたと思いますか。

<物理学科・化学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、物質の構造および機能を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<生物学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、すべての生物に共通する生命の仕組み及び生物界の多様性の成り立ちを理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<惑星学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、地球及び太陽系・宇宙の諸現象を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

問 4 理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、(現代数学・現代物理学・現代化学・現代生物学・地球及び太陽系・宇宙を包括する惑星学) を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。() 内は学科名に対応する)

問 5 <物理学科・化学科・生物学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、(物理学・化学・生物学) の実験手法を応用する能力がどの程度身についたと思いますか。() 内は学科名に対応する)

<惑星学科>理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、惑星学の実験、観測および調査手法を理解し応用する能力がどの程度身についたと思いますか。

問 6 理学部各学科の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、自ら課題を設定し、課題を創造的に解決する能力がどの程度身についたと思いますか。

問2～6 選択肢： 1.大いに身についた / 2.どちらかといえば身についた / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば身につけていない / 5.全く身につかなかった

問7 理学部の学生には、公用掲示板を常に注意して掲示の事項を確認することが求められています。現在、公用掲示板は、B棟2階とZ棟1階に設置してあり大学での確認が必須となっていますが、将来的にこの公用掲示板をうりぼーネット掲示板などに変更して、ネットワーク経由で読めるように電子化する検討をしています。この掲示板の電子化についてどのように思いますか。

選択肢： 1.公用掲示板の電子化は進めた方がよい / 2.現在のB棟2階とZ棟1階の公用掲示板で十分 / 3.どちらでもよい。特に意見無し

【理学研究科】

問1 あなたは、理学部各学科のディプロマ・ポリシー（DP）を知っていますか。

選択肢： 1.よく知っていた / 2.ある程度知っていた / 3.どちらともいえない / 4.あまり知らなかった / 5.全く知らなかった

問2 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、研究成果発信のための英語能力がどの程度身についたと思いますか。

問3 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、学際的視野に基づいた創造的な研究能力がどの程度身についたと思いますか。

問4 <数学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、高度な数学の全般に深い知識を持ち、その相関を理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<物理学・化学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、物質の構造及び機能を根本原理から理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<生物学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、全ての生物に共通する生命の仕組み及び生物界の多様性の成り立ちを根本原理から理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

<惑星学専攻>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、地球及び太陽系・宇宙の諸現象を根本原理から理解する能力がどの程度身についたと思いますか。

問5 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（数学・物理学・化学・生物学・惑星学）の各研究分野に関連した（基礎・高度）な能力、及びそれを研究に応用

する能力がどの程度身についたと思いますか。（前期課程：基礎能力、後期課程：高度な能力（）内は専攻名に対応する）

問6 理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（現代数学・現代物理学・現代化学・現代生物学・惑星学）の広範な研究分野を俯瞰する（俯瞰し、新たな研究課題の着想に活かす）能力がどの程度身についたと思いますか。（「俯瞰し、新たな研究課題の着想に活かす」は後期課程のみ、（）内は専攻名に対応する）

問7 <大学院博士課程前期課程>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（数学・物理学・化学・生物学・惑星学）を深く探究するための基礎となる能力がどの程度身についたと思いますか。（（）内は専攻名に対応する）

<大学院博士課程後期課程>理学研究科各専攻の DP に基づいてお尋ねします。あなたは、（数学・物理学・化学・生物学・惑星学）の研究を自立して行うための能力がどの程度身についたと思いますか。（（）内は専攻名に対応する）

問2～7 選択肢： 1.大いに身についた / 2.どちらかといえば身についた / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば身につけていない / 5.全く身につけなかった

問8 <大学院博士課程前期課程>科学英語科目（研究成果発信のための英語能力の向上）が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。

問9 <大学院博士課程前期課程>特別講義科目（現代数学・現代物理学・現代化学・現代生物学・惑星学）の広範な研究分野を俯瞰する能力の向上が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。（（）内は専攻名に対応する）

問10 <大学院博士課程前期課程>論文講究及び特定研究科目（（数学・物理学・化学・生物学・惑星学）を深く探究するための基礎能力の向上）が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。（（）内は専攻名に対応する）

問11 <大学院博士課程前期課程>コア授業科目という教育システム（専攻内の分野の枠を超えた専門的知識の習得）が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。

問12 <大学院博士課程前期課程>先端融合科学特論B（理学）などの専攻共通科目（幅広い自然科学の知識の習得）が、あなたの知識の習得に関してどの程度役に立ったと思いますか。

問 8～12 選択肢： 1.大いに役に立った / 2.役に立った / 3.ある程度役に立った / 4.役に立たなかった / 5.わからない / 6.未履修

問 13 理学研究科の学生には、公用掲示板を常に注意して掲示の事項を確認することが求められています。現在、公用掲示板は、B棟2階とZ棟1階に設置してあり大学での確認が必須となっていますが、将来的にこの公用掲示板をうりぼーネット掲示板などに変更して、ネットワーク経由で読めるように電子化する検討をしています。この掲示板の電子化についてどのように思いますか。

選択肢： 1.公用掲示板の電子化は進めた方がよい / 2.現在のB棟2階とZ棟1階の公用掲示板で十分 / 3.どちらでもよい。特に意見無し

表 II-52：理学部 2024 年度 学部卒業生 DP 達成度アンケート結果
(回答数:153 名)

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)
1	16	41	37	34	32	35	105
2	44	76	79	82	61	73	8
3	28	30	31	34	27	37	40
4	31	3	6	4	2	7	—
5	34	3	0	1	0	1	—

表 II-53：理学研究科 2024 年度 大学院博士課程前期課程修了生 DP 達成度アンケート結果
(回答数:102 名)

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)
1	7	10	16	29	35	18	35	10	25	43	13	10	66
2	27	48	58	54	55	64	56	25	34	35	29	23	11
3	14	28	19	16	9	14	9	30	33	21	30	30	25
4	33	12	7	2	3	6	2	2	1	1	1	0	—
5	21	4	2	1	0	0	0	2	3	2	12	12	—
6	—	—	—	—	—	—	—	33	6	0	17	27	—

表 II-54：理学研究科 2024 年度 大学院博士課程後期課程修了生 DP 達成度アンケート結果
(回答数:10 名、うち博士(理学)10 名、博士(学術)0 名)

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)
1	0	2	3	3	4	2	2	—	—	—	—	—	8
2	3	7	5	7	4	6	7	—	—	—	—	—	0

3	2	1	2	0	2	2	2	-	-	-	-	-	2
4	3	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
5	2	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-

II-6-6 プログラム教育コースアンケート

各プログラム教育コースの受講者に対して行ったアンケートについて、数理・経済プログラム教育コースアンケートの設問項目の内容と結果を示す。

問1 あなたは、本コースを履修して、次の能力等(①～⑤)がどの程度身についたと思いますか。

- ① 高度専門職に必要な総合的知識
- ② 経済学と数学の関係を解説する能力
- ③ 経済学を数理的に理解する能力
- ④ 数学を経済学に応用する能力
- ⑤ 数学と経済学を幅広く理解する能力

選択肢: 1.大いに身についた / 2.どちらかといえば身についた / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば身につけていない / 5.全く身につけなかった

問2 本コースに関する満足度について、次の中から1つ選択してください。

- ① 本コースを履修して、どの程度満足しているか。

選択肢: 1.大いに満足している / 2.どちらかといえば満足している / 3.どちらともいえない / 4.どちらかといえば満足していない / 5.全く満足していない

表 II-55 : 理学研究科 2024 年度 数理・経済プログラム教育コースアンケート結果
(回答数:1名)

	1-	1-	1-	1-	1-	2
	①	②	③	④	⑤	
1	0	0	0	0	0	0
2	1	0	1	0	0	1
3	0	0	0	0	0	0
4	0	1	0	1	1	0
5	0	0	0	0	0	0

なお、他のプログラム教育コースについては、2024年度の回答対象者はいなかった。

II-6-7 OB・OG 合同会社説明会卒業生アンケート

就職支援の一環として行っているOB・OG 合同会社説明会において、企業から参加している本学部・研究科の卒業生・修了生に対してアンケートを実施し、神戸大学理学部・理学研究科における教育成果について再点検している。教育成果に関する調査は全学において卒業時においても行っているが、企業で現場の経験を積んだ後にあらためて大学教育について再評価してもらうことは、実社会と大学教育をシームレスに繋げて行く上で非常に重要である。

2022年度は2月20日に、3月からの本格的な就職活動シーズンを前にした「理学系OB・OGとの交流会」を開催した。2023年度はさらに時期を早めて12月15日に、2024年度は11月29日に開催した。実施したアンケート結果を表II-56に示す。

問1では、卒業・修了研究やゼミ・研究室に所属して行った教育・研究活動が現在の仕事に役立っていると回答した人が多い傾向は、昨年度調査から変わっていない。理学研究科の少人数教育が効果的に機能していることを示している。問2では、専門的知識、コミュニケーション能力、問題発見能力、問題解決能などのスキルが現在の仕事に役立っていると回答した人が多く、問1で高い評価を得た教育・研究活動を通して必要なスキルが効果的に身につけていることを示している。一方、問3では、英語等の語学力について不足していると感じる人が最も多く、次いでコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題発見能力の不足、と続いており、今後のカリキュラム改訂において力点を置くべき課題であることがわかった。問6の「卒業（修了）したことに満足している」は前回は上回り、向上しているように見受けられる

表 II-56：2024 年度 理学系 OB・OG との交流会卒業生アンケート集計

(32名回答；内、7名は神戸大学の他学部・他研究科のOB/OGであり、25名分を集計)

問 1.	学部または大学院における次の活動を通じて得られた知識・スキルは、現在の仕事にどの程度役立っていますか。	1位 (名)	ポイント点数（数値が小さい程、役立つ度合いが高い）
	1. 教養教育を受けたこと	3	1.91
	2. 専門教育を受けたこと	7	1.81
	3. 外国語教育を受けたこと	0	2.68
	4. 卒業・修了研究を行ったこと	3	1.60
	5. ゼミ・研究室に所属したこと	8	1.48
	6. 指導教官（教員）から直接指導を受けたこと	2	1.56
	7. 学生同士の勉強会・研究会に参加したこと	0	2.13
	8. 先輩から教育・研究上の指導を受けたこと	0	1.96
	9. クラブ・サークル等に参加したこと	2	2.29
	10. 学会や学外の研究会等に参加したこと	0	1.83

	1 1. プロジェクト研究、共同研究を行ったこと	0	2.52
	1 2. TA (ティーチング・アシスタント) ・ RA(リサーチ・アシスタント) の仕事を行ったこと	0	2.69
	1 3. 社会活動 (ボランティア等) に参加したこと	0	3.17
問 2.	学部または大学院で身に付けた知識・スキルの中で、現在の仕事に役に立っていると思われるも上位から3つ	1位 (名)	上位3つ合計 (名)
	1. 専門的な知識	13	15
	2. 幅広い教養	0	9
	3. リーダーシップ	0	2
	4. コミュニケーション能力	4	12
	5. 問題発見能力	4	14
	6. 問題解決能力	4	11
	7. プレゼンテーション能力	0	6
	8. 英語等の語学力	0	3
	9. IT スキル	0	1
	10. その他	0	0
問 3.	現在の仕事に役立てるために、学部または大学院でもっと身に付けておくべきだったと思われるも上位から3つ	1位 (名)	上位3つ合計 (名)
	1. 専門的な知識	2	4
	2. 幅広い教養	3	7
	3. リーダーシップ	1	5
	4. コミュニケーション能力	4	9
	5. 問題発見能力	3	5
	6. 問題解決能力	1	7
	7. プレゼンテーション能力	3	13
	8. 英語等の語学力	5	15
	9. IT スキル	2	7
	10. その他	0	0
問 4.	あなたは神戸大学在学時に、施設・設備、教育環境に満足していましたか。	(名)	
	1. 大いに満足していた	7	
	2. ある程度満足していた	18	
	3. どちらともいえない	0	
	4. あまり満足していなかった	0	
	5. 全く満足していなかった	0	
問 5.	神戸大学の特に優れている点	(名)	

	1. 「真摯・自由・協同」の学風	9
	2. 国際性の重視	4
	3. 研究の重視	11
	4. フィールドワーク・実学・実験の重視	8
	5. 学際領域の開拓	3
	6. 地域・社会との連携	2
	7. その他	0
問		
6.	卒業（修了）したことに満足されていますか	(名)
	1. 大いに満足している	16
	2. ある程度満足している	6
	3. どちらともいえない	0
	4. あまり満足していない	0
	5. 全く満足していない	0

II-7 留学生の受け入れ状況

2024年度の理学部ならびに大学院理学研究科への外国人留学生の受け入れ状況を表II-57から表II-59に示す。

表 II-57 : 学部留学生数 (2024 年度)

学 科	5月1日現在		10月1日現在	
	正規生	研究生	正規生	研究生
数学科	1	0	1	0
物理学科	1	0	1	0
化学科	2	0	2	0
生物学科	1	0	1	0
惑星学科	0	0	0	0
合 計	5	0	5	0

【国籍(内訳)】 数 学 科 : タイ(1)

物理学科 : エルサルバドル(1)

化 学 科 : 中国(1) エルサルバドル(1)

生物学科 : ルーマニア(1)

表 II-58 : 大学院前期課程留学生数 (2024 年度)

専 攻	5月1日現在		10月1日現在	
	正規生	研究生	正規生	研究生
数 学	3	1	2	1
物理学	2	1	1	0
化 学	7	4	5	3
生物学	2	0	2	1

惑星学	1	1	2	1
合 計	15	7	12	6

【国籍(内訳)】 数学専攻：中国(2) カンボジア(1) ネパール(1)

物理学専攻：中国(3)

化学専攻：中国(14)

生物学専攻：中国(2) ドイツ(1)

惑星学専攻：中国(2)

表 II-59 : 大学院後期課程留学生数 (2024 年度)

専 攻	5 月 1 日現在		10 月 1 日現在	
	正規生	研究生	正規生	研究生
数 学	1	0	2	0
物理学	0	0	1	0
化 学	5	1	6	0
生物学	2	0	1	0
惑星学	1	0	1	0
合 計	9	1	11	0

【国籍(内訳)】 数学専攻：中国(2)

物理学専攻：中国(1)

化学専攻：中国(6)

生物学専攻：中国(1) インド(1)

惑星学専攻：中国(1)

III. 研究活動

III-1 研究資金の状況

理学系の各領域ではそれぞれ多様な研究が遂行されており、同時に、それらの研究の遂行を通じて大学院レベルでの教育が行われている。遂行されている研究の詳細については各領域毎の年次報告にまとめられているので、ここでは、それぞれの領域での研究の遂行に必要な研究資金の状況について、表Ⅲ-1 から表Ⅲ-11 に科学研究費の申請・獲得状況の詳細をはじめ、外部機関からの奨学寄附金や外部機関との共同研究・受託研究の現状、表Ⅲ-12 に運営交付金等予算の推移をまとめる。なお、申請から採択までに教員の異動があるため、申請件数に対応する採択件数にはなっていない場合がある。

表 III-1：2024 年度 科学研究費助成事業のまとめ

研究科全体

種 目	申請件数	申請件数	採択件数	採択金額
	(新規)	(継続)	(新規+継続)	(千円)
学術変革領域研究(A)(計画研究)	7	1	2	36,800
学術変革領域研究(A)(公募研究)	6	3	4	10,600
学術変革領域研究(B)(計画研究)	2	0	0	0
基盤研究A(一般)	2	4	5	38,700
基盤研究B(一般)	20	12	17	69,700
基盤研究C(一般)	24	19	25	24,200
挑戦的研究(開拓)	3	2	3	20,700
挑戦的研究(萌芽)	16	2	5	7,200
若手研究	5	3	3	2,600
研究活動スタート支援	6	1	4	4,400
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	1	0	1	11,900
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	—	1	1	2,600
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	4	0	1	2,300
合計	96	48	71	231,700

*採択金額は直接経費総額

*国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)は研究期間全体の交付予定額

表 III-2：2024 年度 理学研究科奨学寄附金の受け入れのまとめ

年度	受入件数(件)	受入金額(千円)	備考
2024	38	52,192	

* 兼務教員を含む

表 III-3：2024 年度 理学研究科産学連携等研究費のまとめ

項目	受入件数(件)	受入金額(千円)	備考
受託研究	20	229,085	
共同研究	20	88,543	
その他(補助金等)	12	168,903	
合計	52	486,531	

* 兼務教員を含む

表 III-4：数学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A)(計画研究)	1	0	0	0
基盤研究(B)	2	2	2	4,300
基盤研究(C)	0	9	9	7,400
挑戦的研究(萌芽)	2	1	2	3,100
若手研究	0	2	2	1,400
国際共同研究加速基金(国際共同研究 強化(B))	0	1	1	2,600
国際共同研究加速基金(海外連携研 究)	1	0	0	0
合計	6	15	16	18,800

* 採択金額は直接経費総額

表 III-5：物理学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A) (計画研究)	2	0	1	17,000
学術変革領域研究(A) (公募研究)	4	1	1	900
基盤研究(A)	0	1	1	7,300
基盤研究(B)	5	1	2	11,800
基盤研究(C)	4	4	7	8,600
挑戦的研究 (開拓)	2	0	1	14,800
挑戦的研究 (萌芽)	3	0	2	2,600
若手研究	3	1	1	1,200
研究活動スタート支援	0	1	1	1,100
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	1	0	1	11,900
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	1	0	1	2,300
合計	25	9	19	79,500

* 採択金額は直接経費総額

* 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)は研究期間全体の交付予定額

表 III-6：化学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A) (計画研究)	0	1	1	19,800
学術変革領域研究(A) (公募研究)	1	2	3	9,700
基盤研究(A)	0	1	1	7,600
基盤研究(B)	6	1	4	23,600
基盤研究(C)	3	1	2	2,000
挑戦的研究 (開拓)	1	0	0	0
挑戦的研究 (萌芽)	6	0	0	0
若手研究	1	0	0	0
研究活動スタート支援	1	0	1	1,100
国際共同研究加速基金(海外連携研究)	2	0	0	0
合計	21	6	12	63,800

* 採択金額は直接経費総額

表 III-7：生物学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A)(計画研究)	3	0	0	0
学術変革領域研究(A)(公募研究)	1	0	0	0
基盤研究(A)	1	1	1	6,000
基盤研究(B)	1	5	5	15,100
基盤研究(C)	7	4	4	3,700
挑戦的研究(萌芽)	2	1	1	1,500
合計	15	11	11	26,300

*採択金額は直接経費総額

表 III-8：惑星学専攻 2024 年度 科学研究費助成事業申請件数、採択件数及び採択金額

種 目	申請件数 (新規)	申請件数 (継続)	採択件数 (新規+継続)	採択金額 (千円)
学術変革領域研究(A)(計画研究)	1	0	0	0
学術変革領域研究(B)(計画研究)	2	0	0	0
基盤研究(A)	1	1	2	17,800
基盤研究(B)	6	3	4	14,900
基盤研究(C)	10	1	3	2,500
挑戦的研究(開拓)	0	2	2	5,900
挑戦的研究(萌芽)	3	0	0	0
若手研究	1	0	0	0
研究活動スタート支援	5	0	2	2,200
合計	29	7	13	43,300

*採択金額は直接経費総額

表 III-9：2024 年度 受託研究契約一覧

研究題目	契約金額 (千円)	研究依頼者	研究代表者		直接経費 (円)	間接経費 (円)
モデリング・シミュレーションのための計算代数	13,650	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	高山 信毅	10,500,000	3,150,000
幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤	22,750	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	谷口 隆晴	17,500,000	5,250,000
深層科学技術計算・数理科学を基盤とする物理構造と深層学習の融合	9,750	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	谷口 隆晴	7,500,000	2,250,000
幾何学的古典場の理論と無限次元データ科学の連携による構造保存型作用素学習	7,800	国立研究開発法人科学技術振興機構	数学専攻	谷口 隆晴	6,000,000	1,800,000
乳がんを有する成人女性及び健康成人女性を対象とした乳房用マイクロ波画像診断装置 IGS-0001 の有効性及び安全性を検討する単施設評価者盲検試験	38,740	株式会社 Integral Geometry Science	化学専攻	木村 建次郎	29,800,000	8,940,000
レアメタル回収をコアとした機能性ペプチド創製技術の事業展開	27,300	国立研究開発法人科学技術振興機構	化学専攻	田村 厚夫	21,000,000	6,300,000
植物修飾分子による多面的機能のテイラーメイド制御	5,395	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	相原 悠介	4,150,000	1,245,000
核ゲノム改変によるゼニゴケものづくり基盤の構築	9,100	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	石崎 公庸	7,000,000	2,100,000
遺伝子組換えゼニゴケによるCO2からのピセアタンノールの生産技術の研究開発	2,500	森永製菓株式会社	生物学専攻	石崎 公庸	1,923,000	577,000
情報分子が拓く植物による菌根菌への寄生能力獲得と制御	16,315	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	末次 健司	12,550,000	3,765,000

力学極性ゲルを用いた微小動物の行動制御と分子基盤の解明	19,890	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	武石 明佳	15,300,000	4,590,000
VRを駆使した生存戦略の多次元評価法の確立	6,500	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	武石 明佳	5,000,000	1,500,000
生物多様性に関する新分野「多様性輪環学」の創成	7,328	国立研究開発法人科学技術振興機構	生物学専攻	辻 かおる	5,637,000	1,691,100
project DEEPMAYMT	5,040	Office of Geological and Mining Research	惑星学専攻	島 伸和	5,040,000	0
電子スピン共鳴法によるスピン超偏極機構の解明	11,437	国立研究開発法人科学技術振興機構	分子フォトサイエンス研究センター	小堀 康博	8,798,000	2,639,400
スピン制御で拓く光機能性材料のスピン計測	780	国立研究開発法人科学技術振興機構	分子フォトサイエンス研究センター	小堀 康博	600,000	180,000
「モニタリングサイト1000藻場調査」に係る調査	400	特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合	内海域環境教育研究センター	上井 進也	307,692	92,308
盗葉緑体現象から探る藻類創生の進化原理の解明	8,710	国立研究開発法人科学技術振興機構	内海域環境教育研究センター	大沼 亮	6,700,000	2,010,000
メダカを用いた甲状腺ホルモンかく乱物質の検出試験法の開発	5,700	独立行政法人環境再生保全機構	内海域環境教育研究センター	堀江 好文	4,385,000	1,315,000
閉鎖性海域大阪湾をモデルにしたMPの生態リスク評価	10,000	一般社団法人日本化学工業協会	内海域環境教育研究センター	堀江 好文	7,692,307	2,307,693

2024年度合計 20件 229,085千円

表 III-10 : 2024 年度 共同研究契約一覧

研究題目	契約金額 (千円)	研究依頼者	研究代表者		直接経費 (円)	間接経費 (円)
深層学習を活用したサブグリッドスケール乱流に対する数値計算法の研究開発	3,850	日本電信電話株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	2,961,538	888,462
月・火星探査に向けた位置有感組織等価比例係数箱(PS-TEPT)の多チャンネル読み出しASICを利用した小型・軽量・低消費電力化の研究	220	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	物理学専攻	身内 賢太郎	200,000	20,000
ソフト/ハードカーボンからの低温黒鉛化技術の開発	1,000	日本カーボン株式会社	化学専攻	内野 隆司	770,000	230,000
電解槽電極の電流分布計測技術の開発	1,000	旭化成株式会社	化学専攻	木村 建次郎	769,230	230,770
蛍光寿命測定によるアミロイド構造の識別	1,000	浜松ホトニクス株式会社	化学専攻	茶谷 絵理	769,000	231,000
光を利用した新規ポリマー生産技術、リサイクル技術の検討	2,860	旭化成株式会社	化学専攻	津田 明彦	2,200,000	660,000
光オン・デマンド合成法を用いたセルロース系新規素材の開発に関する研究	2,860	日本製紙株式会社	化学専攻	津田 明彦	2,200,000	660,000
バイオガスを原料とする光オン・デマンド化学品合成	2,858	光オンデマンドケミカル株式会社	化学専攻	津田 明彦	2,198,900	658,900
光オンデマンド合成技術の産業実装に向けた開発	150	光オンデマンドケミカル株式会社	化学専攻	津田 明彦	115,384	34,616
二酸化炭素の回収技術と精密分子変換に関する研究	8,744	トヨタ自動車株式会社	化学専攻	松原 亮介	6,726,280	2,017,884
核酸連続生産装置の開発	3,770	株式会社ナティアス	化学専攻	松原 亮介	2,900,000	870,000
光エネルギーを用いた炭酸カルシウムからのギ酸生成反応の開発	400	ダイソーケミックス株式会社	化学専攻	松原 亮介	307,692	92,308

惑星計算学習講座	22,100	株式会社 Preferred Networks	惑星学専攻	牧野 淳一郎	17,000,000	5,100,000
CPS と推進する惑星科学研究における新グループ形成	4,000	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	惑星学専攻	牧野 淳一郎	4,000,000	0
高周波、強磁場における電子スピン共鳴(ESR)解析	1,716	株式会社村田製作所	分子フォトサイエンス研究センター	大久保 晋	1,320,000	396,000
誘電体セラミックスメソ結晶の開発と次世代電子デバイスへの応用(光触媒に関する応用は除く)	10,000	太陽誘電株式会社	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	7,692,300	2,307,700
パンプ型水素生成材料の酸化還元反応効率向上の研究	11,000	パナソニックホールディングス株式会社	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	8,461,538	2,538,462
新たに開発される機能性分子性結晶の低振動運動	6,213	中国科学院新疆物理化学技術研究所	分子フォトサイエンス研究センター	富永 圭介	4,779,565	1,433,871
Max-Planck-Gesellschaft との共同研究	2,802	Max-Planck-Gesellschaft	内海域環境教育研究センター	星野 雅和	2,802,162	0
魚類急性毒性試験における安楽死マニュアルの作成と代替試験の適用範囲の検証及び指針作成	2,000	国立研究開発法人国立環境研究所	内海域環境教育研究センター	堀江 好文	1,539,000	461,000

2024 年度合計 20 件 88,543 千円

表 III-11：2024 年度 その他補助金等の受け入れ一覧

研究題目	契約金額 (千円)	研究依頼者	研究代表者		直接経費 (円)	間接経費 (円)
低次元化モデル(ROM)の基盤技術化に関する指導	1,300	川崎重工業株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	1,000,000	300,000
物理シミュレーションの代替モデル(サロゲートモデル)に係る学術指導	189	三菱重工業株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	145,200	43,560
物理シミュレーションの代替モデル(サロゲートモデル)を活用した数値解析に係る学術指導	661	三菱重工業株式会社	数学専攻	谷口 隆晴	508,200	152,460
宇宙惑星科学分野に関する学術研究動向	1,560	独立行政法人日本学術振興会	惑星学専攻	荒川 政彦	1,200,000	360,000
火山研究人材育成コンソーシアム構築事業	490	国立大学法人東北大学	惑星学専攻	金子 克哉	445,650	44,565
「富岳」成果創出加速プログラム	3,769	文部科学省	惑星学専攻	牧野 淳一郎 檜村 博基 齋藤 貴之	2,899,605	869,881
「次世代計算基盤に係る調査研究」(システム調査研究)	136,282	文部科学省	惑星学専攻	牧野 淳一郎	132,188,604	4,093,595
誘電体セラミックスメソ結晶の開発と次世代電子デバイスへの応用	10,000	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	分子フォトサイエンス研究センター	立川 貴士	7,692,700	2,307,300
テラヘルツ分子科学アジア研究拠点	6,556	独立行政法人日本学術振興会	分子フォトサイエンス研究センター	富永 圭介	6,556,000	0
インド若手研究人材招へいプログラム	136	国立研究開発法人科学技術振興機構	分子フォトサイエンス研究センター	富永 圭介	132,000	3,960
海洋人材育成プログラム	36	アクトインディ株式会社	内海域環境教育研究センター	上井 進也	27,691	8,309
藻類リソースの収集・保存・提供	7,924	文部科学省	内海域環境教育研究センター	上井 進也	7,924,000	0

2024 年度合計 12 件 168,903 千円

表 III-12：運営費交付金等予算の推移

(単位 千円)

事 項	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
運営基盤経費					
管理運営経費	81,525	80,128	103,553	106,086	84,813
教育経費	19,941	19,879	13,795	12,693	16,890
研究経費	54,896	54,019	37,288	33,949	44,184
小 計	156,362	154,026	154,636	152,728	145,887
事項指定経費					
自動車関係経費	25	25	25	25	24
学生実地指導旅費	170	168	166	163	159
ティーチング・アシスタント経費	4,610	4,546	4,485	4,405	4,307
核燃料物質管理経費	64	63	62	61	60
教育研究設備維持運営費	647	341	335	330	566
講師等経費(来校旅費)	7,045	6,948	6,855	6,733	6,583
入学試験経費(個別学力試験)	928	915	903	887	867
教育経費(SRA分)	1,128	1,128	1,128	1,128	846
リサーチ・アシスタント経費	1,568	1,862	2,009	1,078	1,342
留学生経費	459	473	500	481	327
収入確保インセンティブ経費	168	201	1,269	1,491	298
部局長裁量経費	9,000	9,000	6,000	6,000	9,000
優れた実績を上げた教員への配分	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
大学入学共通テスト実施経費	393	367	392	325	367
学位論文審査協力経費	123	60	188	271	61
教育経費(地域連携, 高大連携)	700	700	700	600	600
営繕関係費	0	0	0	0	0
建物改修費	0	0	0	0	0
小 計	28,028	27,797	26,017	24,978	26,407
合 計	184,390	181,823	180,653	177,706	172,294
施設交付金(営繕費)	0	0	0	0	0

III-2 外部資金獲得のための取り組み

理学研究科では2013年度に研究科の外部資金獲得や研究資金の適正使用に関するアドバイスを得やすい環境を整えるため、新たに理学研究科外部資金アドバイザリーボードを設置している。2024度は、このアドバイザリーボードによるサポートに加え、5月24日に川上勝URA(学術研究推進機構学術研究推進室 特命准教授)による講演会「JST CREST/さきがけ/ACT-X事業の紹介」を開催した。

IV 社会活動

IV-1 ホームページの作成と公開

理学研究科・理学部では、各種の方法でその教育と研究の内容を外部に向けて公開している。2007年度の理学研究科の発足を受けて、2008年度には理学部、大学院理学研究科（前期課程、後期課程）を紹介する42ページのパンフレットを作成した。それとともに、表IV-1に示すように、大学院理学研究科・理学部を構成する5専攻・学科でそれぞれ神戸大学情報基盤センターのWWWサーバー、あるいは独自のWWWサーバーを用いて、ホームページを公開している。

これらのホームページには、教育研究上の目的にはじまり、入学を目指す高校生・学生に対する入試情報や3年次編入学試験あるいは大学院入学試験の案内、学部・大学院内の学生のための情報、それぞれの専攻・学科を構成する各教員の研究内容および業績に至るまで、多くの情報を公開している。特に、学校教育法施行規則第172条に基づく教育情報公開に関連し、2010年度より教員の担当講義ならびに各教員の有する学位についてもホームページで公開している。

表 IV-1：理学研究科・理学部のホームページ

組 織	URL
理学研究科・理学部	www.sci.kobe-u.ac.jp
数学専攻・数学科	www.math.sci.kobe-u.ac.jp
物理学専攻・物理学科	www.phys.sci.kobe-u.ac.jp
化学専攻・化学科	www.chem.sci.kobe-u.ac.jp
生物学専攻・生物学科	www.edu.kobe-u.ac.jp/fsci-biol/
惑星学専攻・惑星学科	www.planet.sci.kobe-u.ac.jp

IV-2 公開講座

理学部では、2000年度まで学部主催の公開講座を行ってきたが、2001年度からは開催方法を変更し、また対象を高校生まで拡大して「理学部サイエンスセミナー」として実施している。2010年度より、開催日を1日とし、数学、物理学、化学、生物学、惑星学のそれぞれの分野のトピックスについて講演を行っている。

表 IV-2：理学部サイエンスセミナーの開催状況

年度	テーマ	担当学科	受講者数
2006	サイエンスの今	全学科	第1日目：126名（うち高校生80名） 第2日目：117名（うち高校生74名）
2007	サイエンスの今	全学科	第1日目：128名（うち高校生71名） 第2日目：128名（うち高校生74名）
2008	サイエンスの今	全学科	第1日目：84名（うち高校生32名） 第2日目：123名（うち高校生71名）
2009	60周年記念特別企画 - 世界天文年およびノーベル賞関連講演 -	全学科	第1日目：102名（うち高校生53名） 第2日目：87名（うち高校生46名）
2010	最先端の科学をわかりやすく	全学科	80名（うち高校生32名）
2011	科学によって解き明かされる自然現象	全学科	110名（うち高校生42名、中学生1名）
2012	サイエンスの今	全学科	148名（うち高校生56名）
2013	サイエンス最前線	全学科	78名（うち高校生24名）
2014	サイエンス最前線	全学科	91名（うち高校生39名）
2015	サイエンス最前線	全学科	90名（うち高校生23名）
2016	サイエンス最前線	全学科	77名（うち高校生21名）
2017	サイエンス最前線	全学科	120名（うち高校生52名）
2018	サイエンス最前線	全学科	118名（うち高校生60名）
2019	サイエンス最前線	全学科	75名（うち高校生31名）
2020	サイエンス最前線	新型コロナウイルス感染拡大防止のため不開催	
2021	サイエンス最前線	新型コロナウイルス感染拡大防止のため不開催	
2022	サイエンス最前線	全学科	対面61名（うち高校生55名）、WEB66名
2023	サイエンス最前線	全学科	162名（うち高校生109名、附属中学20名、他中学2名）
2024	サイエンス最前線	全学科	93名（うち高校生60名、附属中学4名、他中学1名）

2024年度のサイエンスセミナーの実施概要

7月27日（土曜日）来学による対面形式

場所 神戸大学農学部C棟101室

開講式

10:00-10:05 神戸大学理学部長 挨拶

講演会（サイエンス最前線：講演時間40分、質疑応答10分）

10:05-10:55 「重力波で探る宇宙の謎」 物理学科・助教 伊藤 飛鳥

11:05-11:55 「光と分子の対話～レーザー分光」 化学科・准教授 笠原 俊二

11:55-12:40 （昼休み）

12:40-13:30 「粗面と流体：数学的アプローチ」 数学科・准教授 檜垣 充朗

13:40-14:30 「カオスとカタストロフが共存する地球」

惑星学科・講師 山崎 和仁

14:40-15:30 「母田に帰る琵琶湖のニゴロブナ：不思議な生態を解き明かす」

生物学科・教授 奥田 昇

15:30-15:40 アンケート回答

閉講式

15:40-15:50 神戸大学理学部長 修了証書授与 挨拶

IV-3 出前授業・模擬授業

理学部では、近隣の高等学校を対象に出張講義「出前授業」を2000年度から物理学科で開始し、2001年度から2009年度まで全学科に拡大して実施した。諸事情により2010年度から理学研究科としての出前授業は廃止し、模擬授業を実施することとなった。特に、理学研究科紹介を取り入れ、高校生に大学での理学を身近に感じてもらえるよう配慮した。各専攻独自に行う出前授業は従前通り行われている。

2024 開講テーマ：

数学科

谷口 隆	「虚数と素数」
檜垣 充朗	「反復法による解の近似」
山田 泰彦	「遠近法と射影幾何」
青木 敏	「調査結果の統計学的な見方」

物理学科

大久保 晋、藤 秀樹、菅原 仁

「液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう」

久保木 一浩 「超伝導」

藏重 久弥、山崎 祐司、竹内 康雄、身内 賢太朗、前田 順平、鈴木 州

「素粒子と宇宙」

化学科

和田 昭英 「分子の結合と反応」

大西 洋 「物理化学の基礎の基礎」

松原 亮介 「脱炭素社会を正しく知ろう ～「水素を使えばいい」は本当か？～」

秋本 誠志 「光合成生物の光エネルギー利用戦略」

生物学科

坂山 英俊 「植物の陸上化 — 陸上植物の祖先シヤジクモ藻類から見えてくるの」

武石 明佳 「動物が行動を生み出す仕組み」

星野 雅和 「身近だけどよく知らない生き物、褐藻類」

松花 沙織 「動物の組織・器官を作るメカニズム」

惑星学科

吉岡 祥一 「今後西日本で起こりうる地震について」

山本 由弦 「海洋掘削が明らかにする地球のヒミツ」

樫村 博基 「惑星天気予報：金星は今日も曇り、火星は砂嵐でしょう」

表 IV-3 : 理学部における模擬授業の実施状況概要 (2024 年度)

実施日	高等学校名	参加生徒 (人)	引率 教員 (人)	模擬授業のテーマ
6/7(金)	淳心学院高等学校	22 31	2	遠近法と射影幾何 (数学専攻・山田泰彦) 液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう (物理学専攻・藤秀樹)
7/10(水)	大阪府立鳳高等学校	27	1	虚数と素数 (数学専攻・谷口隆) 遠近法と射影幾何 (数学専攻・山田泰彦)
7/25(木)	京都府立峰山高等学校	42	2	超伝導 (物理学専攻・久保木一浩) 動物の組織・器官を作るメカニズム (生物学専攻・松花沙織)
7/31(水)	長野県松本県ヶ丘高等学校	10	2	素粒子と宇宙 (物理学専攻・身内賢太郎) 液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう (物理学専攻・藤秀樹)
7/31(水)	香川県立高松西高等学校	26	2	液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう (物理学専攻・藤秀樹)
10/15(火)	北海道岩見沢東高等学校	39	2	惑星天気予報：金星は今日も曇り、火星は砂嵐でしょう (惑星学専攻・櫻村博基) 液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう (物理学専攻・菅原仁)
10/24(木)	兵庫県立加古川西高等学校	61	2	惑星天気予報：金星は今日も曇り、火星は砂嵐でしょう (惑星学専攻・櫻村博基) 液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう (物理学専攻・菅原仁)
11/8(金)	兵庫県立兵庫高等学校	31	1	脱炭素社会を正しく知ろう ～「水素を使えばいい」は本当か?～ (化学専攻・松原亮介) 動物の組織・器官を作るメカニズム (生物学専攻・松花沙織)
12/9(月)	滝川第二中学校	51	2	動物が行動を生み出す仕組み (生物学専攻・武石明佳) 液体窒素を使って極低温の世界で遊んでみよう (物理学専攻・菅原仁)
12/12(木)	兵庫県立北須磨高等学校	15	2	脱炭素社会を正しく知ろう ～「水素を使えばいい」は本当か?～ (化学専攻・松原亮介) 今後西日本で起こりうる地震について (惑星学専攻・吉岡祥一)

IV-4 理学部オープンキャンパス

高校生を対象としたオープンキャンパスは毎年夏休み中の8月初旬に開催している。理学部入学生の2割程度が高校時代にこのオープンキャンパスに参加しているという実態がアンケート調査により明らかになっている。理学部としては今後もオープンキャンパスをより充実させていきたいと考えている。2024年度のオープンキャンパスは2023年度に続き対面で開催した。学科の施設・設備の見学、説明が受けられるプログラムを提供した。

表IV-4にオープンキャンパスに参加した高等学校名と参加人数の記録を示す。

表 IV-4：2024 年度理学部オープンキャンパス参加高校と参加者数

北海道 4	札幌月寒1 札幌光星1 札幌南1 北嶺1
青森県 0	
岩手県 1	水沢1
宮城県 2	仙台第二2
福島県 0	
茨城県 0	
栃木県 2	作新学院1 文星芸術大学附属1
埼玉県 2	県立浦和1 昌平1
群馬県 7	桐生1 県立太田1 四ツ葉学園中等教育学校1 前橋女子2 東京農業大学第二2
千葉県 3	佐倉1 匝瑳1 葉園台1
東京都 18	サレジオ工業高等専門学校1 共立女子1 駒場2 広尾学園小石川1 聖徳学園1 大妻多摩1 帝京大学2 東京工業大学附属科学技術2 日本工業大学駒場1 品川翔英1 文京2 文教大学付属1 明法1 立川1
神奈川県 6	横浜国際1 桐蔭学園1 小田原1 神奈川総合2 捜真女学校高等学部1
新潟県 1	新潟南1
富山県 3	魚津1 高岡南1 南砺福野1
石川県 14	金沢桜丘6 金沢泉丘2 金沢二水1 小松1 小松大谷1 星稜3
福井県 16	高志1 若狭3 大野3 藤島4 武生2 福井工業大学附属福井1 北陸2
山梨県 5	甲府南1 甲陵3 駿台甲府1
長野県 3	伊那北1 松本深志1 上田1
岐阜県 11	加納1 岐山2 岐阜2 岐阜北1 恵那1 大垣北4
静岡県 12	伊豆中央1 沼津工業高等専門学校1 静岡1 静岡市立1 藤枝東1 浜松市立4 浜松南2 浜松北1
愛知県 22	愛知工業大学名電1 刈谷1 刈谷北1 向陽3 時習館1 昭和3 西春3 西尾東1 千種1 天白2 半田1 豊田工業高等専門学校1 名東1 明和1
三重県 13	伊勢2 桑名1 高田4 四日市1 上野2 津1 鈴鹿中等教育学校2

滋賀県 32	近江1 守山15 石山2 膳所3 比叡山3 彦根東3 米原5
京都府 84	ノートルダム女学院1 乙訓1 宮津天橋4 京都共栄学園2 京都教育大学附属1 京都工学院1 京都産業大学附属1 京都女子1 京都成章2 京都文教2 向陽1 嵯峨野12 山城3 西京10 西舞鶴2 大谷1 東山1 桃山11 同志社1 南陽1 福知山4 北桑田5 堀川3 洛南8 洛北2 立命館2 龍谷大学付属平安1
大阪府 209	ヴェリタス城星学園3 阿倍野1 茨木10 羽衣学園1 開明5 関西大学高等部3 関西大学北陽2 関西大倉10 岸和田1 久米田1 近畿大学附属5 近畿大阪1 金光大阪1 金蘭千里2 高津2 高槻3 咲くやこの花1 桜塚1 三国丘6 三島1 四天王寺10 四條畷2 住吉1 春日丘4 初芝富田林1 常翔学園1 常翔啓光学園1 寝屋川4 水都国際1 清教学園1 清水谷1 清風南海2 生野12 千里6 宣真1 大阪つくば開成1 大阪学芸1 大阪教育大学附属池田校舎2 大阪教育大学附属天王寺校舎1 大阪教育大学附属平野校舎2 大阪桐蔭7 大阪国際1 大阪女学院6 大阪星光学院1 大手前24 池田1 追手門学院2 帝塚山学院泉ヶ丘3 天王寺10 刀根山1 東3 桃山学院5 府立東3 豊中13 北野5 牧野1 箕面1 明星4 夕陽丘1 履正社2
兵庫県 395	クラーク記念国際三宮キャンパス1 芦屋国際中等教育学校5 伊丹北1 雲雀丘学園12 加古川西2 加古川東24 県立伊丹6 県立西宮5 賢明女子学院3 御影15 甲南1 甲陽学院2 国際3 阪神昆陽1 三田学園5 三田松聖1 三田祥雲館1 三木2 市立西宮5 篠山鳳鳴2 洲本2 夙川8 淳心学院2 小野工業2 小野10 神戸海星女子学院3 神戸20 神戸国際1 神戸市立工業高等専門学校1 神戸女学院高等学部1 神戸大学附属中等教育学校2 神戸朝鮮高級学校1 神戸野田2 神戸龍谷1 親和女子6 須磨学園27 須磨東3 星陵3 精華学園 神戸駅前校2 西宮東14 西宮北1 西脇2 赤穂2 川西北陵2 川西緑台2 蒼開1 滝川4 滝川第二3 長田25 東播磨3 東洋大学附属姫路3 灘1 尼崎稲園13 尼崎小田4 尼崎北2 柏原1 白陵10 姫路4 姫路飾西2 姫路西15 姫路東10 百合学院1 葺合2 兵庫県立芦屋国際中等教育学校1 兵庫県立大学附属2 兵庫県立姫路西1 兵庫県立姫路東1 兵庫14 宝塚西1 宝塚北8 豊岡3 北条1 北須磨5 北摂三田3 夢野台6 明石城西2 明石北16 龍野3 六甲学院7
奈良県 24	育英西3 郡山6 畝傍1 西大和学園1 智辯学園1 智辯学園奈良カレッジ高等部1 帝塚山1 天理2 奈良学園1 奈良県立郡山2 奈良県立大学附属1 奈良2 奈良女子大学附属中等教育学校1 奈良北1
和歌山県 28	開智3 桐蔭17 近畿大学附属和歌山4 向陽3 智辯学園和歌山1
鳥取県 12	青翔開智1 倉吉東2 鳥取城北3 鳥取西4 米子東2
島根県 5	出雲1 松江北4
岡山県 34	岡山一宮1 岡山操山2 岡山大安寺中等教育学校6 岡山朝日3 岡山芳泉3 玉野光南1 金光学園2 高梁1 就実3 倉敷青陵3 倉敷天城6 倉敷南1 津山2
広島県 48	ノートルダム清心1 安古市1 基町3 広島なぎさ2 広島学院4 広島県瀬戸内1 広島1 広島国際学院1 広島国泰寺3 広島女学院1 広島大学附属1 広島大学附属福山2 広島中等教育学校2 修道1 舟入6 大門1 尾道北11 福山4 福山誠之館2
山口県 10	下関西1 岩国5 山口2 徳山2
徳島県 28	城ノ内中等教育学校1 城東4 城南8 徳島市立5 徳島文理2 徳島北3 富岡東2 脇町3
香川県 15	観音寺第一3 丸亀1 高松5 高松第一1 高松中央1 三木1 大手前丸亀1 大手前高松2
愛媛県 16	愛光1 今治西2 三島1 松山東2 松山南2 新居浜西6 川之江1 八幡浜1
高知県 6	高知学芸1 高知国際1 土佐4
福岡県 9	戸畑1 西南学院3 筑紫丘4 東筑1
佐賀県 1	佐賀西1
長崎県 4	佐世保北3 青雲1
熊本県 4	熊本学園大学付属2 人吉2

大分県 5	佐伯鶴城 1 大分上野丘 1 大分豊府 1 中津南 2
鹿児島県 2	加世田 2
宮崎県 2	宮崎大宮 1 日向学院 1
沖縄県 4	那覇国際 1 普天間 2 名護 1
〔合計〕	1122 名

IV-5 神戸大学ホームカミングデイ理学部企画

毎年 10 月に開催される神戸大学の全学でのホームカミングデイ行事に合わせて、当日の午後に理学部企画のホームカミングデイ行事を開催している。

2024 年度の神戸大学ホームカミングデイは、10 月 26 日（土）に来学形式で開催した。

2024 年度理学部ホームカミングデイ行事の概要

理学部企画：13:00～17:00 （会場：理学研究科 Y 棟、Z 棟）

（参加人数：学外 27 名、教職員 26 名、学生 28 名）

学部長挨拶

サイエンスフロンティア研究発表会：大学院生によるポスター発表（25 件）

くさの会総会（数学科、物理学科）

講演会：「ロゼッタストーンとグルノーブル」

講師 播磨尚朝 神戸大学名誉教授（物理学専攻）

閉会式

懇親会・優秀発表賞の授与式

《併設企画》パネル展示

IV-6 その他の活動

その他のセミナー依頼など

各高校、教育委員会より依頼のあった理系セミナー、ガイダンスや模擬授業については、広報委員会等で検討の上、必要に応じ個別に対応し、講師を派遣した。

兵庫県立長田高等学校 高大連携講座 2024 年 6 月 21 日 伊藤 飛鳥 助教

「現代の宇宙論」

神戸海星女子学院 高大連携講座 2024 年 11 月 14 日 井上 邦夫 教授

「生物学のすすめ～多細胞動物のできる仕組み～」